



Oracle Developer for Windows NT and Windows 95/98 リリース・ノート

リリース 6.0

部品番号 A62977-2

はじめに	4
Oracle Developer.....	5
Project Builder.....	12
Forms	12
Reports	27
Graphics	33
Query Builder.....	35
Schema Builder.....	36
Procedure Builder.....	36
各国語サポート.....	38
その他	45
西暦 2000 年以降のインストール.....	47
Oracle Developer for Windows NT and Windows 95/98 R6.0-Patch2 について	48

ORACLE®

Oracle Developer for Windows NT and Windows 95/98

リリース・ノート

リリース 6.0

1999 年 10 月

部品番号: A62977-1

原本名: Oracle Developer Server Release 6.0 Doc Addendum

Copyright © Oracle Corporation, 1998.

All rights reserved.

Printed in Japan.

制限付き権利の説明

プログラムの使用、複製、または開示は、オラクル社との契約に記された制限条件に従うものとします。

本書の情報は、予告なしに変更されることがあります。本書に問題を見つけた場合は、当社にコメントをお送りください。オラクル社は、本書の無謬性を保証しません。

危険な用途への使用について

当製品は、原子力、航空産業、大量輸送、または医療の分野など、本質的に危険を伴うアプリケーションを用途としては特に開発されておりません。当社製品を上述のようなアプリケーションに使用することについての安全確保は顧客各位の責任と費用により行っていただきたく、万一かかる用途での使用によりクレームや損害が発生いたしましても、当社および開発元である米国 Oracle Corporation (その関連会社も含まれます。)は一切責任を負いかねます。

ORACLE は、Oracle Corporation の登録商標です。

本文中の他社の商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

はじめに

このリリース・ノートについて

このリリース・ノートは現時点で公表できる最新の情報にもとづいています。本書の後に明らかになった情報については、通常のサポート情報で入手できます。

このリリース・ノートでは、Oracle Developer リリース 6.0 とマニュアルに記述されている機能との違いについて説明します。

サポートしているプラットフォーム

データベース:	Oracle7 7.3.4
	Oracle8 8.0.4 注(3)
	Oracle8 8.0.5 注(1)
	Oracle8i 8.1.5
アプリケーション・サーバー:	Oracle Application Server 4.0.7 注(2)
サポートしている OS:	Windows 95/98
	WindowsNT 4.0

注意:

- (1) 推奨するデータベース。Oracle8 8.0.5 だけが、同じ Oracle Home ディレクトリで Oracle Developer リリース 6.0 と共存できます。Oracle8 8.0.5 の製品版の使用に基づいています。
- (2) Oracle Developer 6.0 でサポートしているリリースは、Oracle Application Server 4.0.7 だけです。
- (3) Oracle8 8.0.4 は、Oracle Developer リリース 6.0 と同じ Oracle Home ディレクトリに共存できません。

Oracle Developer Server **ライセンス**

Forms、Reports または Graphics を Web 環境で運用する場合は、Oracle Developer Server のライセンスが別途必要となります。なお、ライセンスに関する詳細情報については、同梱の「プログラム・ユーザー証書」をご覧ください。

Oracle Reports スケジューラを使用して Reports のスケジューリングを行う場合も、同様の処置が適用されます。Oracle Developer と Oracle Developer Server は、2 つの別の CD-ROM で配布されるもので、Oracle Developer Server には Oracle Developer とは別のライセンスが必要です。

Oracle Developer

日付処理

Oracle Developer の日付処理に関する重要な情報は、
<http://support.oracle.co.jp/year2000/>を参照してください。さらに、リンクに従って White Papers のページに進んで、参照してください。

既知の問題点

同一 Oracle_Home での旧バージョンとの共存

Oracle Developer/2000 1.6.1 と Oracle Developer 6.0 は同じ ORACLE_HOME に共存できます。

Oracle Developer/2000 2.1 と Oracle Developer 6.0 は同じ ORACLE_HOME に共存できます。

Oracle Developer/2000 1.6.1 と Oracle Developer/2000 2.1 は同じ

ORACLE_HOME には共存できません。

Oracle Application Server のリリース

Oracle Developer カートリッジを導入してテストするためには、Oracle Application Server リリース 4.0.7 をインストールする必要があります。

同一 ORACLE_HOME での Oracle8 8.0.5.0.0 との共存

Oracle Developer 6.0 は、同一 ORACLE_HOME ディレクトリでの Oracle8 8.0.5 と共存をサポートしています。

この構成で稼働させるためには、製品のインストールを次の順序で行ってください。

1. Oracle8 8.0.5 をインストールします。
2. Oracle Application Server 4.0.7 をインストールする場合は、ここでインストールします。詳細は、前述の「Oracle Application Server のリリース」を参照してください。
3. Oracle Developer 6.0 をインストールします。

PLL ファイルのアップグレードでコマンド行に必要な .PLL 拡張子

バッチ・ファイルを使用して .PLL ファイルのアップグレードをする場合は、そのバッチ・ファイルに拡張子 .PLL を付けてください。そうでない場合は、「FRM-10043:ファイルを開けません」というエラーになります。

データベース・オブジェクト名への英数字以外の文字使用

Oracle Developer 6.0 では、表または列の名前について、ASCII 文字を使用する場合、英数字以外 (!や*など) の使用を、サポートしません。

Windows NT のサポート

Windows NT 3.51

Oracle Developer リリース 6.0 は NT 3.51 をサポートしません。

Service Pack 4 では、NT の DuplicateHandle システム・ライブラリ・ルーチンのデフォルトの動作に変更がありました。Developer Server は、このオペレーティング・システム・ルーチンを使って、Forms Listener と個々のランタイム・エンジンとのソケット・ハンドルの受け渡しをしています。DuplicateHandle ルーチンの動作の変更が原因で、この受け渡しができません。オラクル社では、この NT ライブラリ・ルーチンに渡す引数に変更を加えて、Service Pack 4 で生じている問題を回避しています。このパッチは、Oracle Developer 6.0 の CD の Extras¥SP4 ディレクトリに入っています。このパッチをインストールするには、Extras¥SP4 ディレクトリから ORACLE_HOME¥bin ディレクトリに dll ファイルをコピーしてください。

オラクル社は、今後も Microsoft 社と密に作業を進めて、Service Pack 4 への修正を確認し、将来的に Oracle Developer 上での変更の必要がなくなるようにします。Microsoft 社の修正が使用可能になるまで、オラクル社は Oracle Developer に適用するパッチのサポート、メンテナンス、出荷を継続します。このパッチを使用したことによって生じる、既知の問題点や機能上の欠損はありません。

Microsoft SP4 バグのケース ID 番号は次のとおりです。 SPX99030461997

Oracle Developer 6.0 のアンインストール

アンインストールの手順

Oracle Installer を使用した Oracle Developer Server 製品の完全なアンインストールは、このリリースではサポートしません。本製品をアンインストールする際には、以下の手順で行ってください。ただし、すべてのコンポーネントが削除できるわけではありません。以下の手順は、本製品をアンインストールする方法を説明するものです。本製品のコンポーネント（たとえば GUI Common Files や Required Support Files など）を共有する他の Oracle 製品をご使用の際には、以下の手順を実行する過程で削除するかどうかを問うダイアログが表

示されたときに、削除（「いいえ」を選択）しないでください。これまで動作していた他の製品が動作しなくなる場合があります。

1. スタートメニューの「プログラム」->「Oracle for Windows 95(または NT)」->「Oracle Installer」を選択し、Oracle Installer を起動してください。Oracle Installer がインストールされていない、または正常に起動しない場合は Oracle Developer の CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入することで、Oracle Installer が起動します。この場合は、言語は'Japanese'で OK ボタンを押してください。Oracle_Home もそのまま OK を押し、「カスタム・インストールまたは削除」を選択して、OK を押してください。
2. 右側に表示されるインストール済みの製品のリストの中から以下の項目をすべて選択してください。複数の製品を選択する場合は、Ctrl キーを押しながらマウスクリックします。本製品をインストールする際のオプションによっては、一部のコンポーネントがインストールされません。インストールされていないコンポーネントに関しては無視してください。また、ファイルを移動させる場所を聞いてくる場合がありますが、そのまま OK ボタンを押して下さい。なお、本製品と同じ Oracle_Home ディレクトリに、他の Oracle 製品がインストールされている場合にはその製品の実行に必要なコンポーネントは選択しないようご注意ください。

選択する項目

Assistance Common Files, 1.0.1.0.0

Information Navigator, 6.0.3.0.0

Java(TM) Runtime Environment, 1.1.1.0.0

JDK Applet Viewer, 1.1.7.11.0

Oracle Developer - Database Tables, 6.0.2.0.0h

Oracle Developer - Documentation, 6.0.5.6.0 のサブコンポーネントのうち、Language Supplement Files 以外のコンポーネント全て

Oracle Developer - Demos and Add-ons, 6.0.5.1.3

Oracle Developer - Forms, 6.0.5.0.2

Oracle Developer - Graphics, 6.0.5.8.0 のサブコンポーネントのうち、
Language Supplement Files 以外のコンポーネント全て

Oracle Developer - Open Interfaces, 6.0.3.0.0

Oracle Developer - Procedure Builder, 6.0.5.0.0 のサブコンポーネント
のうち、Language Supplement Files 以外のコンポーネント全て

Oracle Developer - Project Builder, 6.0.5.7.0

Oracle Developer - Query Builder, 6.0.5.6.0

Oracle Developer - Release Notes, 6.0.5.1.4

Oracle Developer - Reports, 6.0.5.28.0

Oracle Developer - Reports Express Support, 6.0.5.11.0

Oracle Developer - Schema Builder, 6.0.5.6.0

Oracle Express Connection Editor, 6.2.0.0.1

Oracle File Packager, 1.0.0.1.1

Oracle JInitiator, 1.1.7.11o

Oracle Named Pipes Protocol Adapter, 8.0.5.0.0

Oracle Net8 Assistant, 8.0.5.0.0

Oracle Net8 Client, 8.0.5.0.0

Oracle OCX Pack, 6.0.0.0.0

Oracle ODBC Driver for Rdb, 2.10.13.0.0

Oracle Open Client Adapter for ODBC, 6.0.5.4.0 のサブコンポーネント
のうち、Language Supplement Files 以外のコンポーネント全て

Oracle SNAPI, 6.2.0.0.0

Oracle SPX Protocol Adapter, 8.0.5.0.0

Oracle TCP/IP Protocol Adapter, 8.0.5.0.0

Oracle Trace Correction Service, 8.0.4.0.1

Required Support Files, 8.0.5.1.0

SQL*Plus, 8.0.5.0.0

System Support Files, 6.0.5.0.0

Tools Utilities, 6.0.5.5.0

3. 削除ボタンを押します。確認ダイアログがでますので「はい」を選択してください。
4. 次に以下の項目を選択してください。

選択する項目

GUI Common Files, 6.0.5.6.0

Query Builder Component, 6.0.5.6.0

5. 削除ボタンを押します。確認ダイアログがでますので「はい」を選択してください。途中、インストーラによりエラーダイアログが表示されますが、「無視」ボタンを押してインストール操作を続行してください。
6. Oracle Installer を終了してください。
7. エクスプローラー等で以下に示す Oracle_Home 以下のディレクトリで存在するものは手動で削除してください。

<Oracle_Home>%Forms60

<Oracle_Home>%Graph60

<Oracle_Home>%jdk

<Oracle_Home>%Oin60

<Oracle_Home>%Oca60

<Oracle_Home>%olap%ecf620

<Oracle_Home>%Tools%Common60

<Oracle_Home>%Tools%Devdem60

<Oracle_Home>%Tools%Doc60%Ja

<Oracle_Home>%Tools%Doc60%us

Oracle Net8 をアンインストールする時は、以下のディレクトリも削除してください。

<Oracle_Home>%Net80

アンインストールの補足 1

以上の作業を行ってもショートカットは削除されませんので、ショートカットは手動で削除して下さい。レジストリ内の情報も残りますが残しておいても問題はありません。また、上記のアンインストール作業後に Oracle Installer でインストール済みの製品を見た場合、いくつかのコンポーネントが残っているように見えますが、コンポーネントを手動で削除したためにインストーラーにその情報が残っているだけです。

アンインストールの補足 2

同一 Oracle_Home にインストールされているすべての Oracle 製品を削除する場合は、Oracle_Home ディレクトリ自体およびレジストリ内の ORACLE キーすべてを削除します。

Net8 Easy Configuration ツール

TNSNAMES.ORA ファイルの編集をガイドする Net8 Easy Configuration ツールは、Oracle Developer 6.0 の最初のリリースでは使用できません。サービス名を構成するには、手作業で構成ファイルを編集してください。

TNSNAMES.ORA ファイルの詳細は、『Net8 スタート・ガイド』マニュアルを参照してください。

Oracle Developer 6.0 と互換性のあるプリコンパイラ

Oracle プリコンパイラを使用して Oracle Developer 6.0 にユーザー・イグジットを作成する場合は、Oracle 8.0.5 データベース・リリースに使用されているリリースのプリコンパイラを使用してください。

Oracle Developer Online Manuals の Configuring the Oracle Developer Server

Oracle Developer Server の設定方法が説明されている、Oracle Developer Online Manuals (Information Navigator) の「Configuring the Oracle Developer Server」は英語です。邦訳されたものは、日本オラクルの Web サイト <http://www.oracle.co.jp/download/>

より提供されます。上記サイトへアクセスの上、ダウンロードをお願いします。

Oracle Developer 6.0 マニュアルの PDF ファイル

製品に添付される「スタート・ガイド」と「アプリケーション作成ガイド」の pdf ファイルは、<Oracle_Home>%Tools%Doc60%Ja%gs60 および <Oracle_Home>%Tools%Doc60%Ja%guide60 にインストールされます。

Project Builder

マクロ名の表示

プロパティ・パレットや、マクロの挿入ダイアログなどにマクロ名として表示される Developer の各コンポーネントのバージョン番号が旧バージョンのものになっています。それぞれ、本リリースのバージョン番号「60」としてご使用下さい。

Forms

Web の利用

既知の問題点

「Applet->Reload」メニュー項目が正しく機能しません。

アイコンのイメージが、Web にロードされない場合があります。この現象は偶発的に発生するもので、将来のバージョンで修正される予定です。

イメージは Form Builder の「Web でフォーム実行」を使用しているときには、表示されません。

FORMS60_OUTPUT変数の値をレジストリに設定するときは、出力ディレクトリにボイラープレート・イメージやイメージ・ファイルがロードされる際の問題を回避するために、末尾に¥記号を付けないでください。

MESSAGE ビルトインは、異なる PL/SQL コマンドで実行されている場合でもメッセージ・ボックスを出します。クライアント・サーバーでは、メッセージ行にだけメッセージを表示します。そして、MESSAGE ビルトインの 2 回目のコールから、メッセージ・ボックスに前のコマンドのメッセージを表示します。

AppletViewer のアップグレード・パッチ

AppletViewer へのパッチは、インストレーション CD の Extras ディレクトリに提供されています。AppletViewer の使用の際に問題が発生した場合には、このバージョンの使用を検討する必要があります。しかしほとんどの場合、インストレーション用に提供されている AppletViewer は正常に機能します。

HTML ファイルの変更

<ORACLE_HOME>¥TOOLS¥DEVDEM60¥WEB ディレクトリにある、HTML のサンプル・ファイル、cartridg.htm と static.htm を参照してください。

NT の POOL 機能

コンソール・モードで Forms Server Listener に次の引数を与えて、または、NT サービスの一つとして、NT 上に実行時の web フォームのプール(Forms Server Listener 起動時に、同時にあらかじめ起動される Forms Server プロセス)を作成することができます。

pool=n (n は整数)

例) ifsrv60 -listen pool=5

HTTP の機能

HTTP 機能は、Oracle Developer 6.0 ではベータ機能として使用できます。HTTP モードで Forms Server Listener を実行するには、次のようにします。

ifsv60 [-listen] mode=HTTP

Forms Server Listener は、ソケットと HTTP を同時に使用して実行できます。
ただし、異なるプロトコルの場合は、別々のポートを使用します。

Developer Server の HTTP/1.1 機能を使用するには、HTML ファイルに異なる
Forms アプレットを指定してください。

ソケット	HTTP
-----	-----
oracle.forms.engine.Main	oracle.forms.engine.MainHTTP

たとえば、次の HTML ファイルは、HTTP 機能を使用して Forms アプリケーシ
ョンが実行できるように構成されています。

```
<HTML>
<HEAD>
<TITLE>Webforms</TITLE>
</HEAD>
<BODY>

<applet codebase="/forms_jar/"
        code="oracle.forms.engine.MainHTTP"
        width=700
        height=550>
<param name="proxyHost" value="my-proxy-machine.com">
<param name="proxyPort" value="80">
<param name="serverHost" value="my-server-machine.com">
```

```
<param name="serverPort" value="9000">
<param name="serverArgs" value="module=my_module
                                userid=my_name/my_passwd@my_db">
</applet>

</BODY>
</HTML>
```

「Web でフォーム実行」ボタン

オブジェクト・ナビゲータとレイアウト・エディタの「Web でフォーム実行」ボタンは、Windows NT プラットフォームのみで使用可能です。他のプラットフォームでは、「クライアント/サーバーでフォーム実行」、「デバッグでフォーム実行」の2つのボタンになります。

Windows 95 と Windows 98 では、このボタンは画面にありますが、動作しません。これは、次のリリースで修正される予定です。

スプラッシュ画面

現在、サーバーから Form がロードされる前にスプラッシュ画面が表示されます。このスプラッシュ画面を無効にするには、次のように Forms のパラメータ splashScreen を「no」に設定してください。

```
<param name="splashScreen" value="no">
```

カスタム・スプラッシュ画面を使用する場合は、次のようにします。

```
<param name="splashScreen" value="custom.gif">
```

上記の custom.gif ファイルは、HTML ファイルと同じディレクトリ上に入れてください。

デフォルトの背景ウィンドウ

MDI ウィンドウの背景は、カスタマイズすることができます。デフォルトの背景を使わずに Web で Forms を実行する場合は、次のように background パラメータを「no」に設定してください。

```
<param name="background" value="no">
```

また、背景に別の画像を使う場合、例えば、別の背景として foo.gif を使用する場合は、HTML ファイルと同じディレクトリ上に foo.gif ファイルを置き、次のように background パラメータを foo.gif に設定します。

```
<param name="background" value="foo.gif">
```

別のウィンドウでの Forms アプレットの実行

Forms アプレットを別のウィンドウで実行する場合は、次のように Forms のパラメータ separateFrame を「True」に設定してください。

```
<param name="separateFrame" value="true">
```

Oracle のルック・アンド・フィール - カラー・スキーマ

スライダ、ウィジェット、ウィンドウ・バーなどの背景色を変更する場合、次の値を HTML ファイルに使用することができます。

```
<param name="colorScheme" value="teal">
```

```
<param name="colorScheme" value="titanium">
```

```
<param name="colorScheme" value="red">
```

```
<param name="colorScheme" value="khaki">
```

```
<param name="colorScheme" value="blue">
```

```
<param name="colorScheme" value="olive">
```

```
<param name="colorScheme" value="purple">
```

HTML ファイルの例

```
<HTML>
```



```

<!-- FILE: static_jinit.html -->
<!-- Oracle Static (Non-Cartridge) HTML File Template (Windows
      NT) -->
<!-- Tags and parameters have been modified for Oracle
      JInitiator -->

<HEAD><TITLE>Developer Server and Oracle
JInitiator</TITLE></HEAD>

<BODY>
<P>
<OBJECT classid="clsid:9F77a997-F0F3-11d1-9195-00C04FC990DC"
      WIDTH=180
      HEIGHT=20
      codebase="http://mymachine/jinit.exe#Version=1,1,7,11"
>
<PARAM NAME="CODE"      VALUE="oracle.forms.engine.Main" >
<PARAM NAME="CODEBASE"  VALUE="/form60code/" >
<PARAM NAME="ARCHIVE"   VALUE="/form60code/f60all.jar" >
<PARAM NAME="type"      VALUE="application/x-jinit-
      applet;version=1.1.7.11">
<PARAM NAME="serverPort" VALUE="9000">
<PARAM NAME="serverArgs" VALUE="module=fmx_name
      userid=user/password@datasourc">
<PARAM NAME="serverApp"  VALUE="default">
<PARAM NAME="lookAndFeel" VALUE="oracle">
<PARAM NAME="colorScheme" VALUE="teal">
<PARAM NAME="splashScreen" VALUE="no">

```

```

<PARAM NAME="background" VALUE="no">
<PARAM NAME=separateFrame" VALUE="true">
<COMMENT>
<EMBED type="application/x-jinit-applet;version=1.1.7.11"
    java_CODE="oracle.forms.engine.Main"
    java_CODEBASE="/form60code/"
    java_ARCHIVE="/form60code/f60all.jar"
    WIDTH=180
    HEIGHT=20
    serverPort="9000"
    serverArgs="module=fmx_name
                userid=user/password@datasource"
    serverApp="default"
    lookAndFeel="oracle"
    colorScheme="teal"
    splashScreen="no"
    background="no"
    separateFrame="true"
    pluginspage="http://mymachine/jinit_download.htm">
<NOEMBED>
</COMMENT>
</NOEMBED></EMBED>
</OBJECT>
</BODY>
</HTML>

```

カスタム JAR ファイルの署名

Oracle Developer リリース 6.0 で配布されるクラス・ファイルは一部だけが署名されており、権限を持つクライアントが信頼されたアプレットを実行する場

合のパフォーマンスを向上させています。

スタックに存在するクラスが署名されたクラス・ファイルであるときに、信頼されたアプレットは、ソケット接続を確立して、警告メッセージを出さずに最上位レベルのウィンドウを表示することができます。また、署名されているクラスの数を削減することで、Forms アプリケーションの起動にかかる時間を著しく減少させることができます。

アプレットの起動パフォーマンスの改善には上記の方法論が使えます。もっとも簡単な方法は、署名の必要があるクラスとそうでないクラスを別の JAR ファイルに分割することです。この方法が適さず、署名するクラスも署名しないクラスも同じアーカイブに共存させる必要がある場合は、次の手段をお勧めします。

既存の JAR にあるクラス・ファイルの一部だけに署名することはできないので、まず、署名する必要があるすべてのクラスで JAR ファイルを作成して署名をし、それから残りのクラス・ファイルを追加します。JAR コーティリティにはアップグレード・オプションはありませんが、既存のアーカイブへのクラス・ファイルの追加には、Zip ツールが使用できます。

オンデマンド・ローディング機能

この機能により、起動時に、比較的小さい JAR ファイルをロードすることができます。他の JAR ファイルは、中に含まれているクラスが必要なときにロードされます。この機能を使用するためには、HTML ファイルの ARCHIVE タグを、f60splash.jar、すなわち、初期化に必要なクラスだけが入った小さな JAR ファイルの値に変更します。

f60common.jar、f60help.jar、f60rest.jar、f60resources.jar および f60oracle_laf.jar ファイルは、必要時にロードされます。つまり、起動時には forms クラスの一部分だけをロードするので、フォームがより迅速に立ち上がります。

プラグ可能な JAVA 構成要素

dispatchCustomEvent メソッドは、標準的な JAVA イベントモデルに従って、非同期式で動きます。このメソッドでは、ブロックせずにすぐに戻ります。

ボイラープレート・オブジェクトへの可視属性の指定

Forms 6.0 では、四角形、枠、線などのボイラープレート・オブジェクトに、可視属性を指定することが可能です。ボイラープレート・オブジェクトのプロパティ・パレットで、可視属性プロパティを設定できます。

Windows 95/98/NT 上の Form Builder と Reports 多層サーバー

Reports 多層サーバーを Windows 95/98/NT マシン上で非サービスとして稼働させている場合に、Form Builder からフォームを実行できません。

フォームは生成されますが、Builder がコンソール上に「しばらくお待ち下さい...」と表示したまま停止します。Reports 多層サーバーを終了すると、フォームは実行されます。

Windows NT 4.0 上で Reports 多層サーバーをサービスとして稼働させている場合には、この問題は起きません。

新しいシステム変数

SYSTEM.EVENT_CANVAS

:System.Event_Canvas 変数は、When_Tab_Page_Changed トリガーが起動されたときの該当キャンパスの名前を返します。既存のタブ・ページ・システム変数 (:System.Tab_Previous_page 変数など) に変更はありません。

When_Tab_Page_Changed トリガーのときだけ、このシステム変数を参照します。このシステム変数は、他の場合に有効または正確であるという保証はされていません。

記載されていないエラー・メッセージ (FRM-99999)

オンライン・ヘルプに記載されていない、Forms のエラー・メッセージは、いずれも次のような共通のメッセージを表示します。

FRM-99999: エラー: FRM-NNNNN が発生しました。このエラーに関する情報は、リリース・ノートを参照してください。

これらのエラー・メッセージの詳細は、次の項で説明します。

追加メッセージ

FRM-10905: 次の戻り値は無効です。

原因: 無効な戻り値を修正してからでないと、このウィザードのページからは出られません。

処置: 有効な戻り値を入力してください。戻り値は次のいずれかです。

1. 完全な修飾子のついた項目名 (<BLOCK_NAME>.<ITEM_NAME>)。
2. Form パラメータ (PARAMETER.<PARAMETER_NAME>)。
3. PL/SQL のグローバル変数 (GLOBAL.<VARIABLE_NAME>)。

FRM-10906: 1 つまたは複数の値リスト列の幅が負数になっています。

原因: 表の 1 つまたは複数の値リスト列の幅が負数になっています。

処置: 幅が負数になっている表の列がないように確認してください。

FRM-10907: 値リストのサイズ、または位置が負数になっています。

原因: 値リストのサイズと位置の属性の 1 つまたは複数が負数になっています。

処置: 幅が負数になっている、値リストのサイズと位置の属性がないように確認してください。

FRM-10908: 検索して取り出す行数が 0 以下です。

原因: 検索して取り出す行数が 0 以下です。

処置: 検索して取り出す行数に 1 以上の値を入力してください。

FRM-10909: 古い書式の値リストを、値リスト・ウィザードを使用して変更することはできません。

原因: 古い書式の値リストに対して、値リスト・ウィザードが起動されました。

処置: レコード・グループに基づいて、新規に値リストを作成してください。

FRM-18114: FORMS60_JAVADIR が設定されていません。

原因: Form Builder からの Web プレビューが機能するには、レジストリ変数の

FORMS60_JAVADIR が、FormsJava ファイルが置いてある場所を指している必要があります。この変数は、Oracle Developer Forms のインストール時に Oracle Installer によって設定されています。この変数の標準的な値は c:\orant\forms60\java です。

処置: NT 上のレジストリ変数 FORMS_JAVADIR を作成、または、更新して、Forms Java ファイルが置いてある場所を指す値を設定してください。

FRM-18115: CLASSPATH 変数が設定されていません。

原因: Web 上で Forms を実行するには、環境変数 CLASSPATH が、有効な Java がインストールされている場所を指している必要があります。この変数は、Oracle Developer のインストール時に Oracle Installer によって設定されています。

処置: 環境変数 CLASSPATH を作成、または、更新して、有効な Java がインストールされている場所を指す値を設定してください。

FRM-18116: CLASSPATH 変数に Forms への参照が含まれていません。

原因: Developer Server が機能するには、環境変数 CLASSPATH に、Oracle Forms に必要な Java ファイルが置いてある場所を指す項目が含まれている必要があります。この項目は、Oracle Forms のインストール時に Oracle Installer によって既存の CLASSPATH 変数に追加されています。

処置: 環境変数 CLASSPATH を作成、または、更新して、Oracle Developer の必要とする Java ファイルが置いてある場所を指す値を設定してください。

FRM-18117: 存在しない HTML ファイルへの参照が、設定項目に含まれていません。

原因: 作業環境ダイアログの「ランタイム」で、HTML ファイルが指定されていますが、その HTML ファイルが存在していないか、または、指定された場所が存在しません。

処置: 作業環境ダイアログの「ランタイム」で、障害になっている HTML ファイルへの参照を削除してデフォルトの HTML ファイルが使用されるようにするか、または、存在する HTML を指定してください。別の方法としては、指定さ

れている場所にその HTML ファイルを置いてください。

FRM-18118: Javai.DLL がありません。

原因: Developer Server が、Windows NT のような Microsoft Windows 環境で機能するには、DLL'javai.dll'が存在し、%ORACLE_JDK%\bin ディレクトリに置いておく必要があります。この%ORACLE_JDK%に、有効な Java のインストール場所が入ります。

処置: javai.dll が%ORACLE_JDK%\bin ディレクトリに存在するかを確認し、必要であれば、Oracle JDK を再インストールしてください。

FRM-18119: ORACLE_JDK 変数が設定されていません。

原因: Developer Server が機能するには、環境変数 ORACLE_JDK が、有効な Java のインストールの場所を指している必要があります。この変数は、Oracle Forms のインストール時に Oracle Installer によって設定されています。

処置: 環境変数 ORACLE_JDK を作成、または更新して、有効な Java のインストールの場所を指す値を設定してください。

FRM-18120: libjava.so がありません。

原因: Developer Server が Solaris 環境で機能するには、有効な JDK が存在し、パスに置いてある必要があります。

処置: 有効な JDK がパスに存在するかを確認し、必要であれば、JDK を再インストールしてください。

既知の制限事項

このリリースに関する Forms バージョン 6.0.5 の既知の問題点を以下に説明します。

値リスト・ウィザード

値リスト・ウィザードを使って値のリストを作成し、2 度以上 Query Builder を起動させて SQL の問合せを作ると、すでに存在している Query Builder 上で Form Builder が異常終了する場合があります。

ActiveX (OCX) コントロール

1. 次に示すビルトインは、LOGON ビルトインをコールしない ON - LOGON トリガーがあった場合は機能しません。すなわち、これらのビルトインが正しく動作するためには、ログオンが必要です。

TO_VARIANT

SET_VAR

VAR_TO_TABLE

GET_VAR_BOUNDS

CREATE_VAR

2. イベント関数に渡す引数を使用しようとすると、GPF (一般保護違反) になります。

Forms Server

Forms Server を非サービスとして実行する場合は、次の構文を使用してください。

```
ifsrv60 -listen
```

注意: この '-listen' パラメータは、非サービスで実行する場合に必須の指定です。

ADT 列の参照

表に ADT 列があり、その ADT 定義が現行スキーマでない場合に、Form Builder は ORA-4043 の障害になり、Forms Runtime も障害になります。これを避けるために、ADT タイプの定義が表と同じスキーマで作成されていることを確認してください。

クライアント・マシンでの Forms アプレット署名の登録

Form アプレット署名の登録に必要な Dev2k.x509 は、¥EXTRAS¥DEV CERT ディレクトリにあります。

LOB のサポート

Forms 内での LOB サポートは、Oracle8 8.0.5 および Oracle8i 8.1.5 データベースに接続しているときに機能します。

ロード・バランス機能

Forms ロード・バランス機能を利用するためには、配布 CD より 3 つのファイルをお使いのマシンに手作業でコピーする必要があります。

Oracle Developer 6.0 のインストール完了後に、次のファイルを配布 CD よりコピーしてください。

d2ls60.exe

d2lc60.exe

d2la60.dll

1.<CD_DRIVE>:\%forwin95%\comps\%ssf60 ディレクトリから、d2ls60.exe、d2lc60.exe および d2la60.dll をコピーします。

2.それらのファイルを、%ORACLE_HOME%\%orant%\bin ディレクトリにコピーします。

Web アプリケーションの MDI ウィンドウ

Web アプリケーションの MDI ウィンドウを「x」アイコンをクリックして閉じても、When-Window-Closed トリガーは起動しません。

検索と置換:大文字小文字の区別をつけた一致

プログラム単位内の「検索と置換」ダイアログで、大文字と小文字の区別をつける場合の一致が、小文字の文字列に対してしか正しく動作しません。これは、Forms と Reports の「PL/SQL の検索と置換」でも発生します。

リリース 7.3.4 以前のデータベースに対する OPEN_FORM の問題

プログラム単位 (トリガーではない) でカーソルを開き、そのままオープンに

しておいて、別のセッションで open_form を実行すると、呼び出し側のフォームをシャットダウンさせるときに、アプリケーション全体が終了してしまいます。これを再生させるには、呼び出し側のフォームが open_form スタックの中に必要です。

PL/SQL エディタ: DE_PREFS_TABSIZE によって設定可能なタブ・サイズ

PL/SQL エディタのタブ・サイズは、DE_PREFS_TABSIZE レジストリ・エントリを使用して設定できます。DE_PREFS_TABSIZE の値を、PL/SQL エディタの文字のタブ幅に設定してください。デフォルトでは、タブ・サイズは 2 に設定されています。

V1-V2-V8 の移行: PL/SQL V2 での予約語の置換

PL/SQL バージョン 1 からバージョン 2 以上への移行中、新しい予約語が既存の表や列の名前にあると、問題が生じます。たとえば、VARIANCE は PL/SQL バージョン 2 以降では、新しく予約語になりました。これらの予約語の中には、表や列名を参照するための識別子として、二重引用符で囲んだ大文字のキーワードで使用されているものがあります。リリース 6.0 の V1-V2-V8 コンバータ・ドキュメント内に記述されているように、新しい予約語が使われている箇所をすべて、固有の新しい識別子に置き換えることをお奨めします。

対話モード・プロパティの動的設定

Forms では、次のようにして動的に対話モードの設定ができるようになりました。

```
set_form_property('form_name', INTERACTION_MODE,  
                  BLOCKING/NON_BLOCKING);
```

```
get_form_property('form_name', INTERACTION_MODE,  
                  BLOCKING/NON_BLOCKING);
```

アップグレードの互換性

Forms 4.x および 5.0 から Forms 6.0 へのアップグレードをサポートします。

バージョン 3.0 以前からアップグレードするためには、まず最初に、上記のバージョンのどちらかにアップグレードする手順を行ってください。

Reports

サポートする PDF

Adobe Acrobat Reader は、Report Builder で生成された PDF レポート・ファイルに英語以外の数種のキャラクタ・セット言語や Unicode キャラクタ・セットが含まれていると、そのファイルを読むことができません。

PDF ページ幅の制限

Adobe Acrobat Reader には表示制限があります。処理できる最大ページ幅は 45 インチです。レポートのページ幅を 45 インチより大きく設定して PDF フォーマットで作成すると Reader には何も表示されません。

Advanced Network Option

Reports 多層サーバーは、現在、Advanced Network Option をサポートしません。

Reports Web カートリッジおよび Reports Web CGI の認証ダイアログ

Reports Web カートリッジおよび Reports Web CGI の認証ダイアログを使用する場合は、REPORTS60_OWSMAP 変数で参照される URL マッピングファイル内(Reports Web CGI の場合は REPORTS60_CGIMAP 変数で参照される URL マッピングファイル内)の dummy キー項目の server の値を、実際に使用する Reports 多層サーバーの名前に合わせて変更する必要があります。

Netscape および HTMLCSS 出力の問題点

Netscape のウィンドウ・サイズを変更すると、ページが歪み、再ロードが必要

になる場合があります。また、8ポイントより小さいフォントではボールド体属性が失われます。

Web プレビュー・オプションを使って、ブックマーク付きの Reports を表示するとき、ブックマークのフレームはリフレッシュされません。レポートを表示するたびに、新しいブックマーク・フレームが表示されます。関係のないフレームを削除するには、ブラウザを終了して、再起動する必要があります。

Netscape の問題により、2 バイトのフォント名を使った HTML スタイル・シートは正しく表示されません。

キュー・カードのビデオ

キュー・カードに含まれるビデオが、Windows NT バージョンで機能しません。この問題は、将来のリリースで解決される予定です。

Reports と Graphics の統合

Graphics 表示をレポートに統合する場合、データベースの接続時に必ず接続文字列を指定してください。LOCAL 環境変数、またはレジストリ・エントリが定義されていても、接続文字列を指定しないと、正しく統合されません。

既知の問題点

Reports バージョン 6.0.5 に関する既知の問題点はすべて、この項に記述します。制限事項を、データ・モデル、Reports と Express の統合およびレイアウト・モデルの3つのカテゴリに分けています。

データ・モデル

問題: 「ツール」->「作業環境」->「オープン時にレポート・エディタを表示しない」を「オン」にしても「オフ」にしても、モジュールを開いたとき、レポート・エディタが最初に開かれることはありません。

対処法: 「ツール」->「レポート・エディタ」を使用してください。

Reports と Oracle OLAP Server の統合

問題: Express データベースが英語以外のキャラクターセットの場合、データが正しく表示されません。

対処法: 現時点ではありません。将来のバージョンにおいて修正予定です。

問題: パスワードを必要とする Express データベースをアタッチできません。

対処法: 現時点ではありません。将来のバージョンにおいて修正予定です。

問題: インデントと階層のレベルが表示されません。

対処法: 現時点ではありません。将来のバージョンにおいて修正予定です。

問題: 「マトリックス」と「グループ別マトリックス」タイプのレポートで、次元の値が、あらかじめ定義されているデータベースの順序に関係なく、アルファベット順にソートされます。Selector ツール、Sort、または、Top/Bottom を使用しても、表示の順序を変更することができません。

対処法: 現時点ではありません。将来のバージョンにおいて修正予定です。

問題: Reports Builder から Express に接続するとき、Express 接続が定義されていない場合は、エラー・メッセージ REP-6029 が出ますが、ポインタが砂時計のまま表示されます。

対処法: マウス・ポインタは機能していますが、外観が「使用中」から「通常」に戻されていない状態です（すなわち、矢印に変わらずに砂時計のままになっています）。

問題: Express の問合せの作成時に、多くのメジャーを組み込む（たとえば、大きいデータベースを接続しているときに '>>' を使うなど）と、Report Builder をロックしてしまう場合があります。

対処法: メジャーは一度に 1 つを選択してください。

問題: Express の問合せを含むレポートを Web に展開する場合、Express のログイン・ボックスが表示されません。したがって、ユーザーは接続を指定できず、レポートも実行されません。

対処法: これは予定どおりの動作です。RDBMS 接続と同じ現象で、同様に「解決」することができます。

1. パラメータ・フォーム・エディタで使用可能なウィザードの EXPRESS_SERVER パラメータを使用し、手作業でそのパラメータをパラメータ・フォームに追加します。
2. レポート用の cgicmd.dat ファイルに、EXPRESS_SERVER パラメータを指定します。
3. EXPRESS_SERVER パラメータの構成要素として、ユーザー・パラメータを作成し、実際の EXPRESS_SERVER パラメータを組み立てます。

問題: このリリースでは、パラメータを Express 問合せに渡すことはできません。

対処法: 現時点ではありません。将来のバージョンにおいて修正予定です。

問題: Express データが、常にアルファベット順にソートされています。

対処法: 現時点ではありません。将来のバージョンにおいて修正予定です。

サポートする Oracle OLAP Server のバージョン

このリリースでは Oracle OLAP Server 6.2 を使用してください。

必要なデータベースのバージョン

Reports と Oracle OLAP Server の統合を利用するためには、Oracle8 8.0.5 NT Server に接続してください。

レイアウト・モデル

問題: ランタイム・オプション - DESTYPE システム・パラメータに値 'PREVIEW' は無効です。

対処法: レポートの定義で、システム・パラメータ DESTYPE にデフォルト値として 'PREVIEW' を設定します。

問題: データベースへのレポートの保存と、データベースのレポートのオープンが失敗します。

対処法: 旧バージョンの Reports を使用して、データベースのレポートを開き、

ファイル・システムに保存します。

問題: ボイラープレートのテキストの値を 1 バイトからマルチバイトに変更すると、GPF (一般保護違反) になります。

対処法: ボイラープレート・テキストを更新する前に、フォントを'Arial'から'MSゴシック'に変更してください。

問題: マルチバイト: 動作中のプレビューアで「すべて選択」を行うと、GPF (一般保護違反) になります。

対処法: オブジェクトの「すべて選択」を行うには、オブジェクト・ナビゲータまたはレイアウト・エディタを使用してください。

問題: ヘッダー/トレーラ・セクションにレポート・ウィザードを使用すると、メインのレイアウト・セクションが無効になります。

対処法: その他のデフォルト・レイアウト・ツールを使用してヘッダー/トレーラ・セクションのレイアウトを作成するか、または、これらのセクションにデフォルトを適用するときに、レポート・ウィザードを使用してデータ・モデルを変更しないようにしてください。

問題: 名前プロパティおよびコメント・プロパティが欠落しているオブジェクトのレイアウトがあると、プロパティ・パレットで「検索」機能を使用するとき、Reports がハングします。

対処法: パレットで「検索」機能を使わずに、オブジェクト・ナビゲータを使用して、オブジェクトの名前を変更してください。

問題: Web 用のレポートを作成するとき、出力が期待どおりになっているかを確認するために、Report Builder から Web ブラウザへの切り替えを繰り返していると、Builder に戻ろうとした際に、Report Builder がハングします。

対処法: 現時点ではありません。将来のバージョンにおいて修正予定です。

Web ウィザード

Web 用のレポートを作成するとき、Web ウィザードでテストをしていると、レポートがハングすることがあります。対処法は現時点ではありません。将来の

バージョンにおいて修正予定です。

バージョンの互換性

異なるリリースの実行可能プログラムを混在させることは、サポートしていません。

例: Report Server リリース 1.6.1 を、リリース 6.0 の実行可能プログラム CLI コマンド (RWCLI60.exe)、Queue Manager (RWRQM60.exe)、OCX (RWSXC60.exe) でアクセスする場合。

検索と置換: 大文字小文字の区別をつけた一致

プログラム単位内の「検索と置換」ダイアログでは、大文字と小文字の区別をつける場合の一致が、小文字の文字列に対してしか正しく動作しません。これは、Forms と Reports の「PL/SQL の検索と置換」でも発生します。

PL/SQL バージョン 1 からバージョン 2 以上への移行中、新しい予約語が既存の表や列の名前にあると、問題が生じます。たとえば、VARIANCE は PL/SQL バージョン 2 以降では、新しく予約語になりました。これらの予約語の中には、表や列名を参照するための識別子として、二重引用符で囲んだ大文字のキーワードで使用されているものがあります。リリース 6.0 の V1-V2-V8 コンバータ・ドキュメント内に記述されているように、新しい予約語が使われている箇所をすべて、固有の新しい識別子に置き換えることをお奨めします。

PL/SQL エディタ: DE_PREFS_TABSIZE によって設定可能なタブ・サイズ

PL/SQL エディタのタブ・サイズは、DE_PREFS_TABSIZE レジストリ・エントリを使用して設定できます。DE_PREFS_TABSIZE の値を、PL/SQL エディタの文字のタブ幅に設定してください。デフォルトでは、タブサイズは 2 に設定されています。

レポートの幅と高さプロパティの場所

旧バージョンではレポートの幅と高さは、レポート・レベル・プロパティで設定しました。Oracle Reports 6.0 では、ユーザーが、レポートのそれぞれのセ

クシオンに異なる次元を設定できるようになりました。したがって、幅と高さのプロパティは、レポート・レベル・プロパティから、セクション・レベル・プロパティに移っています。

キュー・カード

インストール直後の状態では、キュー・カードの動画と音声は再生できません。再生する場合は、<Oracle_Home>%Tools%Doc60%Ja 以下の、ファイル名が r から始まる wav ファイルと avi ファイルを、<Oracle_Home>%bin ディレクトリにコピーしてください。

Graphics

既知の問題点と対処法

問題: オブジェクト・ナビゲータから、「保存」ボタンまたは[Ctrl]+[s]キーを使う場合、最初に、現行表示に対する「図表」ノードをクリックしてください。そうしないと、図表は保存されません。

対処法: 現時点ではありません。将来のバージョンにおいて修正予定です。

問題: オブジェクト・ナビゲータから、[Ctrl]+[w]キーを使って表示を閉じる場合、最初に現行表示に対する「図表」ノードをクリックしてください。そうしないと、図表は閉じられません。

問題: Column/Plain タイプのチャートは、チャート・ウィザードによって、他のチャート・タイプに変更できません。これ以外のチャート・タイプは、タイプ・プロパティを選択することによって、チャート・ウィザードを介して変更できます。

対処法: この問題が発生したら、OG バッチ・エンジンを閉じ、続行してください。

問題: ポストスクリプト・プリンタを使用して OGD ファイルを印刷すると、イ

メッセージが4ページにわたって印刷されます。

対処法: 現時点ではありません。将来のバージョンにおいて修正予定です。

問題: 「サウンド・ボリューム」ボタンが機能しません。

対処法: 現時点ではありません。将来のバージョンにおいて修正予定です。

問題: Graphics 内の記号が、適切に印刷されません。

対処法: 現時点ではありません。将来のバージョンにおいて修正予定です。

問題: ブラウザの Graphics 表示を取り出そうとすると、「別名で保存」ダイアログ・ボックスが表示されることがあります。

対処法: 現時点ではありません。将来のバージョンにおいて修正予定です。

問題: すべての文字パラメータは、表示を実行する前に初期化してください。パラメータを NULL に初期化するには、文字列"" ""を使用します。

問題: オブジェクト・ナビゲータの垂直線が、最後のオブジェクトよりも拡張されて表示されることがあります。これは、このように表示されるだけで、機能には影響しません。

問題: Builder から Graphics Runtime を終了した後、レイアウト・エディタのオブジェクトを選択または操作する前に、まずオブジェクト・ナビゲータ・ウィンドウをクリックしてください。

対処法: 現時点ではありません。将来のバージョンにおいて修正予定です。

問題: Graphics Runtime のオンライン・ヘルプは機能しません。

対処法: 現時点ではありません。将来のバージョンにおいて修正予定です。

Graphics カートリッジ

Graphics カートリッジは本リリースではサポートしません。

キュー・カード

インストール直後の状態では、キュー・カードの動画と音声は再生できません。

再生する場合は、<Oracle_Home>\Tools\Doc60\Ja 以下の、ファイル名が g

から始まる wav ファイルと avi ファイルを、<Oracle_Home>%bin ディレクトリにコピーしてください。

Query Builder

Query Builder の日付フォーマット

Windows プラット・フォームでは、BROWSER_DATE_FORMAT という新しい Oracle レジストリ・エントリが作成され、アプリケーション全体におよびデフォルトの日付フォーマットが設定できるようになりました。この設定は、データ・エディタで入力する日付および結果ウィンドウで表示される日付の、デフォルトのフォーマットになります。UNIX プラットフォームでは、環境変数 BROWSER_DATE_FORMAT で同じ処理ができます。

データ・ディクショナリ表を変更する問合せ

Query Builder と Schema Builder は、Oracle データ・ディクショナリのパブリック・シノニムを変更するスキーマの問合せをサポートしていません。たとえば、ALL_OBJECTS、ALL_TYPES または、ALL_TAB_COLUMNS など、データ・ディクショナリ・ビューと同じ名前の表を作成することはできません。

結果ウィンドウでの Oracle8 サポート

Query Builder では、結果ウィンドウに次のものを表示することはできません。

- ラージ・オブジェクトや、データベース・ファイル (BFILE、BLOB、CLOB、NCLOB)
- 結果ウィンドウ上の NLS 列 (NCHAR、NVARCHAR2)
- 列オブジェクトまたは参照オブジェクト

Schema Builder

Schema Builder の日付フォーマット

Windows プラット・フォームでは、BROWSER_DATE_FORMAT という新しい Oracle レジストリ・エントリが作成され、アプリケーション全体におよびデフォルトの日付フォーマットが設定できるようになりました。この設定はデータ・エディタに入力する日付および結果ウィンドウで表示される日付の、デフォルトのフォーマットになります。UNIX プラットフォームでは、環境変数 BROWSER_DATE_FORMAT で同じ処理ができます。

データ・ディクショナリ表を変更する問合せ

Query Builder と Schema Builder は、Oracle データ・ディクショナリのパブリック・シノニムを変更するスキーマの問合せをサポートしていません。たとえば、ALL_OBJECTS、ALL_TYPES または、ALL_TAB_COLUMNS など、データ・ディクショナリ・ビューと同じ名前の表を作成することはできません。

Procedure Builder

追加メッセージ

PDE-PEP014: プログラム単位<プログラム単位名>は、その名前がビルトイン・パッケージの名前と対立したために、<プログラム単位名>に改名されました。

原因: バージョン 1 では、Procedure Builder によって、ビルトイン・パッケージと同じ名前のプログラム単位を作成できました。バージョン 2 以降では、これできません。ビルトイン・パッケージと同じ名前のプログラム単位をロードすると、Procedure Builder では、そのプログラム名を一意に改名します。

処置: 必要であれば、ロードする前にそのプログラム単位名を変更し、参照部分もすべて、そのプログラム単位名に更新したことを確認してください。

Windows 固有のビルトイン

Developer/2000 の旧バージョンでは、Windows 固有の DDE ビルトインへのコールが、Windows 以外のプラットフォーム上で正しくコンパイル、実行されるように、stub ライブラリをアタッチする必要がありました。現在では、その必要はなくなりました。ただし、Windows 以外のプラットフォーム上で Windows 固有のビルトインを実行させようとすると、次のメッセージが生成されます。

FRM-40735: トリガー<トリガー名>が未処理の例外を引き起こしました。

ORA-06509, 00000, 「PL/SQL: ICD ベクトルが、このパッケージに対してありません。」

検索と置換: 大文字小文字の区別をつけた一致

プログラム単位内の「検索と置換」ダイアログでは、大文字と小文字の区別をつける場合の一致が、小文字の文字列に対してしか正しく動作しません。これは、Forms と Reports の「PL/SQL の検索と置換」でも発生します。

ヘルプ/クイック・ツアー: クイック・ツアーが正しくインストールされていない場合のエラー

ユーザーがヘルプ/クイック・ツアーをクリックしてエラーが生じた場合は、クイック・ツアーのファイルが正しい場所にインストールされていません。再インストールしてください。

PL/SQL エディタ: DE_PREFS_TABSIZE によって設定可能なタブ・サイズ

PL/SQL エディタのタブ・サイズは、DE_PREFS_TABSIZE レジストリ・エントリを使用して設定できます。DE_PREFS_TABSIZE の値を、PL/SQL エディタの文字のタブ幅に設定してください。デフォルトでは、タブサイズは 2 に設定されています。

V1-V2-V8 の移行: PL/SQL V2 での予約語の置換

PL/SQL バージョン 1 からバージョン 2 以上への移行中、新しい予約語が既存の表や列の名前にあると、問題が生じます。たとえば、VARIANCE は PL/SQL バージョン 2 以降では、新しく予約語になりました。これらの予約語の中には、表や列名を参照するための識別子として、二重引用符で囲んだ大文字のキーワードで使用されているものがあります。リリース 6.0 の V1-V2-V8 コンバータ・ドキュメント内に記述されているように、新しい予約語が使われている箇所をすべて、固有の新しい識別子に置き換えることをお奨めします。

各国語サポート

全ての言語に共通の既知の問題点

問題: Forms では、フォームが Builder から実行された場合 (すなわち、ラン・フォームのデバッグ・バージョンを使用した場合) に、PL/SQL が NLS の設定を無視します。

対処法: TO_CHAR を使用し、NLS_NUMERIC_CHARACTERS を設定して項目をフォーマットすることで回避します。

問題: ADD_TREE_NODE のマニュアルでは、これをプロシージャと記述していますが、実際は関数です。

対処法: 英語のマニュアルでは、このコードを正しく記述しています。

問題: F50GENOPTS アクションが、Form Builder のオプションとしてリストされています。Project Builder では、ユーザーが「Form Builder 実行モジュール」を選択し、「タイプ編集」を選び、「BUILD」アクションを編集すると、F50GENOPTS が表示されます。

対処法: これは、実際には機能します。名前の誤りです。

問題: Form Builder では、ユーザーがテキスト・オブジェクトを描いた後、その

フォントを変更すると、コピー、貼り付けおよび削除キーが機能しなくなります。

対処法: 現時点ではありません。将来のバージョンにおいて修正予定です。

問題: Oracle Terminal のユーザー・インターフェースは英語で表示されます。ご了承下さい。

問題: 英語以外の言語で、関数の構文パレットの定義が次のようになっています。

```
FUNCTION function_name RETURN data_type
/*declarations;*/
BEGIN
statements
END /*function_name*/;
```

この最初の行は、「IS」という語で終わっていなければいけません。すなわち、「FUNCTION function_name RETURN data_type IS」になります。

対処法: 正しい構文を使用してください。

アラビア語での既知の問題点

問題: 右から左へ入力するキャンパスで表示されるグラフでは、Y軸が左側ではなく右になります。

対処法: 現時点ではありません。将来のバージョンにおいて修正予定です。

問題: WebForms では、デフォルトのキャンパス方向が右から左向きの場合、スクロール・バーが、デフォルトで右ではなく左に設定されています。

対処法: 次のとおりです。

1. Form Builder でフォームを開きます。
2. データ・ブロック・オブジェクトを拡張します。
3. 影響のあるデータ・ブロックをクリックします。
4. マウスの右ボタンをクリックし、プロパティ・パレットに進みます。
5. 「スクロール・バー」エントリまでスクロール・ダウンします。
6. 逆方向プロパティを「はい」に設定します。

7. 再生成して、実行します。

問題: Form Builder では、タブ・キャンパスの方向を変更すると、正しく再表示しません。

対処法: レイアウト・エディタを閉じてから、再度開いてください。タブ・キャンパスが正しく表示されます。

ヘブライ語での既知の問題点

問題: ヘブライ語は、NLS_LANGパラメータを Hebrew_Israel.IW8MSWIN1255 に設定してインストールします。これにより、MS Window のコード・ページ 1255 がインストールされます。かわりに ISO8859P8 キャラクタ・セットの使用を希望するお客様もいます。

対処法: NLS_LANG にあるコード・ページ文字列を、手作業で ISO8859P8 に変更してください。影響するレジストリ・キーは次のとおりです。

```
HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\ORACLE\ORACLE_HOME\NLS_LANG
```

問題: 右から左へ入力するキャンパスで表示されるグラフでは、Y軸が左側ではなく右になります。

対処法: 現時点ではありません。将来のバージョンにおいて修正予定です。

問題: WebForms では、デフォルトのキャンパス方向が右から左向きの場合、スクロール・バーが、デフォルトで右ではなく左に設定されています。

対処法: 次のとおりです。

1. Form Builder でフォームを開けます。
2. データ・ブロック・オブジェクトを拡張します。
3. 影響のあるデータ・ブロックをクリックします。
4. マウスの右ボタンをクリックし、プロパティ・パレットに進みます。
5. 「スクロール・バー」エントリまでスクロール・ダウンします。
6. 逆方向プロパティを「はい」に設定します。
7. 再生成して、実行します。

問題: Form Builder では、タブ・キャンパスの方向を変更すると、正しく再表示しません。

対処法: レイアウト・エディタを閉じてから、再度開いてください。タブ・キャンパスが正しく表示されます。

日本語での既知の問題点

問題: Translation Builder は日本語版ではサポートしません。

問題: Net8 プロトコル・アダプタのうち、Named Pipe、IPX/SPX、LU6.2 は日本語版ではサポートしません。

問題: Adobe Acrobat PDF Writer をデフォルトプリンタに設定して印刷を行うと、一般保護違反が発生します。

対処法: デフォルトプリンタドライバでなければ問題ありません。 Adobe Acrobat PDF Writer をデフォルトプリンタドライバにせずにご使用下さい。

問題: キャラクタ・セットが JA16EUC の場合に、モジュールを Oracle データベースに保存できません。

対処法: 将来のバージョンにおいて修正予定です。

問題: Developer では、どんな 2 バイト言語でインプリメントしても、1 バイトのフォントの字体 (Arial など) を使用して編集すると障害が起きます。これは、Developer のどの編集フィールドでも発生します。

対処法: 1 バイトのフォントのかわりに、ローマ字を表示する 2 バイトのフォントを使用して、回避してください。

問題: Windows から Solaris に、(半角カタカナを使用して) 長さが 30 バイト以上ある名前の付いたオブジェクトを持っていくことができません。

対処法: 現時点ではありません。将来のバージョンにおいて修正予定です。

問題: Query Builder の結果の書式を整えるための位置合わせプロパティが、正しく機能しません。

対処法:ローマ字、数字、半角カタカナだけは、サポートされています。

問題: 中国語文字、日本語の漢字などの DBCS(2 バイト・キャラクタ・セット)文字をドラッグ・アンド・ドロップすると、文字が変わります。

対処法: 現時点ではありません。将来のバージョンにおいて修正予定です。

問題: 日本語オンラインヘルプの JavaBeans および Java で Forms を拡張のサンプルプログラムが間違っています。

対処法: 英語版のオンラインヘルプ

(<Oracle_Home>%Tools%Doc60%Us%if60.hlp)のサンプルプログラムは正常です。こちらを参照してください。

問題: 「Configuring the Oracle Developer Server」用の Oracle Information Navigator (OIN) を実行中、インデックスが表示されず、いくつかのセクションにアクセスできなくなることがあります。

対処法: 現時点ではありません。将来のバージョンにおいて修正予定です。

問題: Information Navigator の「アプリケーション作成ガイド」のうち、第 部 付録のページへのジャンプが正しく動作しません。

対処法: 現時点ではありません。将来のバージョンにおいて修正予定です。

問題: Forms の Web での実行時にキー操作のヘルプ表示に使用される、

<Oracle_Home>%forms60%fmrweb.res ファイルは英語で提供されます。

対処法: fmrweb.res ファイルはテキスト形式です。必要に応じてテキストエディタで直接編集することで表示を変更できます。日本語を使用する場合は、Forms Server を実行するときの文字コード(Windows NTの場合は SJIS)を使用してください。

問題: Developer モジュールをデータベースに格納するための「Oracle Developer Database-Table」が正常に構成されません。(スタートメニュー プログラム Oracle Developer 6.0 Admin Oracle Developer Build にて実行)

対処法: データベース・テーブルを作成する前に、以下のようにファイルを修正する必要があります。

1. <Oracle_Home>%dbtab60%devbild.sql 53 行目-56 行目

<変更前>

```
prompt *****
prompt * Creating Translation Builder Objects *
prompt *****
start %oracle_home%\tools\dtab60\otm60\sqlbld.sql
```

<変更後>

```
prompt *****
prompt * Creating Translation Builder Objects *
prompt *****
Rem start %oracle_home%\tools\dtab60\otm60\sqlbld.sql
```

2. <Oracle_Home>\dtab60\devdrop.sql 49 行目-52 行目

<変更前>

```
prompt *****
prompt * Dropping Translation Builder Objects *
prompt *****
start %oracle_home%\tools\dtab60\otm60\sqldrp.sql
```

<変更後>

```
prompt *****
prompt * Dropping Translation Builder Objects *
prompt *****
Rem start %oracle_home%\tools\dtab60\otm60\sqldrp.sql
```

韓国語での既知の問題点

問題: Developer では、どんな 2 バイト言語でインプリメントしても、1 バイトのフォントの字体 (Arial など) を使用して編集すると障害が起きます。これは、Developer のどの編集フィールドでも発生します。

対処法: 1 バイトのフォントのかわりに、ローマ字を表示する 2 バイトのフォン

トを使用して、回避してください。

問題: 中国語文字、日本語の漢字などの DBCS(2 バイト・キャラクタ・セット)文字をドラッグ・アンド・ドロップすると、文字が変わります。

対処法: 現時点ではありません。将来のバージョンにおいて修正予定です。

問題: 韓国語の文字は、Web に展開したとき、ポイラプレートで壊れます。

対処法: Extras ディレクトリに提供されている dll をインストールしてください。

詳細は、「その他」の項を読んでください。

スロバキア語での既知の問題点

問題: Oracle Installer で NLS_LANG を SLOVAK_SLOVKIA.EE8MSWIN1250 に設定してしまう問題があります。これは、綴りの誤りです。SLOVKIA ではなく、SLOVAKIA です。

対処法: インストールを完了してから、NLS_LANG の値を Windows レジストリで変更してください。影響するレジストリ・キーは、

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥ORACLE¥ORACLE_HOME¥NLS_LANG です。

中国語（簡体字）での既知の問題点

問題: 問合せを生成する「条件」パネルを使用することができません。記号が表示されません。これは中国語文字が表や列の名前に使用されているときにだけ、発生します。

対処法: 問合せを手作業で入力して、対処してください。

問題: Developer では、どんな 2 バイト言語でインプリメントしても、1 バイトのフォントの字体 (Arial など) を使用して編集すると障害が起きます。これは、Developer のどの編集フィールドでも発生します。

対処法: 1 バイトのフォントのかわりに、ローマ字を表示する 2 バイトのフォントを使用して、回避してください。

問題: キャラクタ・セットを ZHS16CGB231280 から、ZHS16GBK に変更す

ると、Project Builder の故障を引き起こします。

対処法: 現時点ではありません。将来のバージョンにおいて修正予定です。

問題: 中国語文字、日本語の漢字などの DBCS(2 バイト・キャラクタ・セット) 文字をドラッグ・アンド・ドロップすると、文字が変わります。

対処法: 現時点ではありません。将来のバージョンにおいて修正予定です。

問題: 中国語(簡体字)の NT でだけ、Project Registry のファイル名を選択しているときに、プロジェクト・ウィザードで文字が切り落とされます。

対処法: 中国語(簡体字)の Windows NT でだけ発生します。対処法は現時点ではありません。将来のバージョンにおいて修正予定です。

中国語(繁体字)での既知の問題点

問題: Developer では、どんな 2 バイト言語でインプリメントしても、1 バイトのフォントの字体(Arial など)を使用して編集すると障害が起きます。これは、Developer のどの編集フィールドでも発生します。

対処法: 1 バイトのフォントのかわりに、ローマ字を表示する 2 バイトのフォントを使用して、回避してください。

問題: 中国語文字、日本語の漢字などの DBCS(2 バイト・キャラクタ・セット) 文字をドラッグ・アンド・ドロップすると、文字が変わります。

対処法: 現時点ではありません。将来のバージョンにおいて修正予定です。

カナダフランス語での既知の問題点

問題: カナダフランス語は、Oracle Installer で表示される言語のリスト上の選択肢ではありません。

対処法: Developer のカナダフランス語サポートを、直接インストールすることはできません。対処法は現時点ではありません。将来のバージョンにおいて修正予定です。

その他

Extras ディレクトリの内容

次の表に、インストール CD に含まれる Extras ディレクトリの内容を示します。このディレクトリは、これらのリリース・ノートまたはその他で参照されることがあります。

ディレクトリ	内容
Autorun	自動インストール・プロセスの起動に必要なファイル。
Devcert	Forms アプレットの署名登録に必要なファイル。
JDK11	JDK1.1 ファイルへのパッチ。
OAS40	Oracle Developer カートリッジをテストするために必要な Oracle Application Server 4.0.7 へのパッチ。 (OAS 4.0.7.1 への適用は必要ありません。)
PJC	Heavyweight JavaBeans と相互使用可能な一般的な JavaBean ラッパーを使用したコード例。
Reports¥Docs	Reports に関する特別なドキュメンテーションを含む。このディレクトリにある readme.txt を読んでください。
SP4	Microsoft Service Pack 4 のバグを修正する dll。
VGS	韓国語の文字の問題を解決する dll。

ドキュメンテーションに関する既知の問題点

ドキュメンテーションに記述された次の例が、機能しません。

```
DECLARE
    htree          ITEM;
    find_node      NODE;
BEGIN
    htree := Find_Item('tree_block.htree3');
    find_node := Ftree.Find_Tree_Node( htree, 'Zetie',
    Ftree.FIND_NEXT,
        Ftree.NODE_LABEL, Ftree.ROOT_NODE, Ftree.ROOT_NODE );
```

```
find_node := Ftree.Find_Tree_Node( htree, 'Doran',  
Ftree.FIND_NEXT,  
Ftree.NODE_LABEL, find_node, find_node);  
IF NOT Ftree.ID_NULL(find_node) then  
Null;  
END IF;  
END;
```

次のコードをコンパイルすることができません。

エラー: "識別子 NODE を宣言する必要があります"

これは単に NODE ではなく、Ftree.NODE とします。

西暦 2000 年以降のインストール

Oracle Developer for Windows NT and Windows 95/98 R6.0 CD-ROM に含まれる Oracle Installer 3.2.2.1.1 は 西暦 2000 年以降において製品のインストールができません。西暦 2000 年以降において Oracle Installer を使用する場合は、必ず Oracle Developer for Windows NT and Windows 95/98 R6.0 - Patch2 CD-ROM に含まれている Oracle Installer 3.3.1.1.0 をインストールし使用して下さい。

西暦 2000 年以降に Oracle Developer for Windows NT and Windows 95/98 R6.0 CD-ROM の Oracle Installer 以外の全てのコンポーネントをインストールする場合の手順を次に示します。

- a) Oracle Developer for Windows NT and Windows 95/98 R6.0 - Patch2 CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、setup.exe を起動します。
- b) 「Oracle インストーラ設定」ダイアログで言語に Japanese を選択します。

c)使用可能な製品から Oracle Installer 3.3.1.1.0 を選択し、Oracle Installer のみインストールを行います。

d)Oracle Installerのインストールが終了したら、「終了(X)」ボタンを押し、Oracle Installer を終了します。

e) Oracle Developer for Windows NT and Windows 95/98 R6.0 - Patch2 CD-ROM を抜き、Oracle Developer for Windows NT and Windows 95/98 R6.0 CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

f) Oracle Developer for Windows NT and Windows 95/98 R6.0 CD-ROM をセットした時に Oracle Installer が自動的に起動された場合、終了してください。

g)インストール済みの Oracle Installer 3.3.1.1.0 を起動します。

h)Software Asset Manager より「元(F)...」ボタンを押し、Oracle Developer for Windows NT and Windows 95/98 R6.0 CD-ROM の中から次のように prd ファイルを選択します。

-Windows 95/98 の場合:

CD-ROM¥install¥install¥ja¥win95.prd

-Windows NT の場合:

CD-ROM¥install¥install¥ja¥nt.prd

i)Software Asset Manager で Oracle Installer を除く全てのコンポーネント選択し、インストールを行います。

j)インストールが終了したら、Oracle Installer を終了します。

Oracle Developer for Windows NT and Windows 95/98 R6.0-Patch2 について

ここでは Oracle Developer for Windows NT and Windows 95/98 R6.0 -

Patch2 に関する次の情報を記述します。このパッチによって修正される不具合については以下の「このパッチで修正される不具合」の項を参照してください。前述のように西暦 2000 年以降に Oracle Installer を使用するためには必ずこのパッチ中の Oracle Installer が必要になります。

このパッチから GUI Common Files または Tools Utilities のパッチモジュールを適用後、Oracle Developer for Windows NT and Windows 95/98 R6.0 CD-ROM から他のコンポーネントをインストールした場合、このパッチを再度適用する必要があります。

- CD の内容
- インストール方法
- このパッチで修正される不具合

CD の内容 :

CD のルートディレクトリには次のディレクトリがあります。

¥INSTALLR

¥FORWIN95

¥PATCHES

¥EXTRAS

¥INSTALLR ディレクトリには Oracle Installer (SETUP.EXE によって起動される) 関連のファイルがあります。

¥PATCHES ディレクトリにはコンポーネントを以下のバージョンにアップグレードするためのモジュールがあります。

-- FORMS 6.0.5.30.2

-- PROCEDURE BUILDER	6.0.5.30.1
-- GUI60	6.0.5.30.0
-- TOOLS UTILITIES	6.0.5.29.2d
-- LANGUAGE SUPPLEMENT	6.0.5.30.1
-- REPORTS EXPRESS SUPPORT	6.0.5.30.0
-- REPORTS	6.0.5.30.0
-- JINIT	1.1.7.16o

注意：このパッチを適用する前に、適用したいコンポーネントが Oracle Developer for Windows NT and Windows 95/98 R6.0 CD-ROM よりインストールされている必要があります。

また、既知の問題として Oracle Installer 3.2.x を用いてこのパッチの prd ファイルを開いた場合、Asset Manager ウィンドウには何も表示されません。

このパッチの Oracle Terminal 6.0.5.30.0 をインストールし起動しようとする
と、次のエラーのため起動できない現象が確認されております。

「ot: Cannot find the application startup file」

このパッチの Oracle Terminal をインストールしないでください。

インストール方法：

注意：インストールを行う前に全ての Windows アプリケーションを終了させて下さい。

- 1) 「スタート」メニューの「ファイル名を指定して実行」から

D:¥SETUP.EXE

を実行します。"D:"には CD ドライブに割り当てられた文字を指定します。)

2) このパッチを適用したいコンポーネントを選択し、インストールします。

このパッチで修正される不具合：

Bugs fixed in FORMS:

In Patch2-2

Version 6.0.5.30%:

663087 WEBFORMS: COPY BUILT-IN WILL NOT HANDLE 1ST CENTURY AD DATES

735434 WEBFORMS:TIABA3:BUTTON LABELS IN FORM ARE DISPLAYED TRUNCATED/CLIPP

780155 OCX: CLOSING A FORM CAUSES A CRASH

818793 TRIAGE0299:DEPLOYING WEBFORMS ON A WAN SENDS OUT SMALL PACKETS

826803 GMTICS:NCA:OPEN FORM GOES TO BACKGROUND. WINDOWS PROBLEM.

827180 FRM-40908 ON RAISE FORM_TRIGGER_FAILURE IN POST-QUERY TRIGGER

855909 DR. WATSON WHEN CHANGING STYLE IN SUBCLASSED CANVAS

859610 HTREE: JAVA EXCEPTION THROWN WHEN DYNAMICALLY SETTING TREE RECORD G

865500 IE50:CANNOT RUN ANY FORM IN IE50 USING FORMS 6.0

882374 WEBFORMS: NO DEFAULT ACCELERATOR COME UP FOR BUTTON3 LABEL IN ALERT

884625 INVALID PAGE FAULT SELECTING ATTACHED LIBRARIES AFTER
CHANGING SIZE

886832 WEBFORMS ERRORS IF SUN.APPLLET.APPLLETVIEWER CLASS NOT
PRESENT ON CLI

887839 APPS6:WEB MDI TOOLBAR DISAPPEARS WHEN YOU NAVIGATE TO
WIN OTHER THA

889752 BACKPORT INTERCEPT SERVER PATCH FROM 6.0.6 TO 6.0.5

890997 ONLY CREATE WIDGETS FOR DISPLAYED ITEMS

891087 FORM CRASHES WHEN BLOCK DATASOURCE IS A PROCEDURE

894270 WEBFORMS:EXCEPTION IF ENTER LONG STRING INTO MULTILINE
TEXT ITEM

894469 WEBFORMS:EDITOR DISPLAYS QUERY INFORMATION ISTEAD OF
FULL VALUE

894793 REGRESS : TIPITEM : CLEAR_EOL BUILT-IN IS NOT WORKING

896439 USING CREATE_GROUP_FROM_QUERY W/GLOBAL VARIABLE
CAUSES CORE DUMP!!

896475 WEBFORMS: EXCEPTION WHILE TYPING INTO A MULTI-LINE TEXT
ITEM

899832 FORMS BUILDER GETS UNHANDLED EXCEPTION ON EXIT WHEN
INVOKED FROM DE

904309 REGRESS : BUILT-INS SUITE : TIPBJ4 TEST FAILS

908645 STACKED CANVAS DISAPPEARS:STACK->CONTENT->STACK OR
WITH SHOW_VIEW

909198 WEBFORMS: WEBFORM CAUSES NAVIGATION TO FIRST RECORD

916475 SANITY TEST :FORMS LISTENER CRASHES SOMETIMES WHEN
THE CLIENT START

922706 SANITY TEST : 6.0 PATCH : WEBFORMS : QUITING OPEN FORM
GIVES NETWORK

923366 WEBFORM:TESTCASE TIAHTREE:CLICKING ON DELETE
SELECTION GIVES FRM-99

927607 CANNOT START APPLICATION ON WEB

937052 SANITY TEST : WEBFORMS : CLICKING ON CANCEL BUTTON ON
INITIAL LOGIN

496746 APPS6:DATE ENTERED AS 0001 IS CONVERTED TO 2001 IF
FORMAT DD-MON-RR

735434 WEBFORMS:TIABA3:BUTTON LABELS IN FORM ARE DISPLAYED
TRUNCATED/CLIPP

780155 OCX: CLOSING A FORM CAUSES A CRASH

818793 TRIAGE0299:DEPLOYING WEBFORMS ON A WAN SENDS OUT
SMALL PACKETS

Bugs fixed in 6.0.5.29%:

291072 RECEIVES FRM-40200 WHEN TRYING TO USE A LOV FOR
VALIDATION ON NON-

426974 DURING UPDATE WHERE CURRENT (TRIAGE1296)
TRIAGE0597

613999 MENUDEF.MMB SHOWS 'WINDOW' MENU ITEM B4'HELP'
CAUSE'HELP' ISNOT MAG

649618 WEBFORMS: FOCUS IS NOT IN WINDOW IF YOU TYPE AHEAD

656535 SMARTBAR CANCEL_QUERY BUTTON ACTIVE ALL THE TIME WITH
MENUDEFS.MMB:

662406 CUT AND PASTE OF TEXT FIELD SELECTS ENTIRE FIELD NOT
JUST HIGHLIGHT

695330 8051: BUGT60 - NON-BLOCKING PROPERTY DOES NOT ALLOW
ACTIVITY ON FO

695341 BUGOUT60:FRM-40654 WHEN UPDATING READ-ONLY REF
COLUMN IF REF COLUMN

705969 NLS: CANNOT USE THE MNEMONIC IN WEBFORMS

707726 WEBFORMS: VIEW CHART GET A BLANK CHART FOR PARETO
CHART

724674 APPS992:NCA:AP:PRESSING DOWN ARROW KEY IN LOV SELECTS
THE VALUE. IN

730324 APPS992:NCA:AR:GEN:ATTACHMENTS RECORDS NOT QUERIED
WHEN INVOKING TH

734582 APPS992:INV:GEN:CORE DUMP WHEN GENERATE SERIAL
NUMBERS FORM INVOKED

738786 WEBFORMS: APPLLET: JDK1.1.1.170: FRM-99999 ERROR COMES
UP IF CLICK O

746039 TAO60:EXECUTING A FORM MODULE SAVED IN DATABASE GIVES
CORE DUMP.

749642 OBJECT LIBRARY: WHEN REPLACING OBJECTS SOME OF THEM
GET DELETED :T

750484 WEBFORMS : SANITY : TIAWUI TEST : EXIT A CALLED FORM
(CUSTOM MENUS

759074 '' ARE REPLACED BY '-' IF ENTERING QUERY 'DD MON RR' WHERE
'DD-MON

767755 WEBFORMS CUT /PASTE TO SYSTEM CLIP BOARD DOES
NOT WORK

768368 RUNTIME: NO DIALOG PROMPTING TO CANCEL QUERY IF STOP
QUERY WITH NON

770760 NON BLOCKING MODE CANCEL LONG QUERY COMPULSIVELY
OFMPE1298

784695 GMTICS:UPGRDATION: GETTING FRM-30064:UNABLE TO PARSE
STMT RECORD GR

787795 BUILDER:CHANGE PASSWORD DIALOG NOT DISMISSED AFTER
NEW PASSWORD IS

787807 WEBFORMS: WEBFORMS DOES NOT WORK WITHOUT ARCHIVE
PARAMETER

807049 RETURN VALUES OF D2FRELG_REL_TYPE NOT #DEFINED IN
D2FDEF.H

814750 SERVICEVIEW2:SQL-100501 ERROR IS ENOUNTERED DURING
STANDARD OPERATI

818471 DBMS_ERROR_TEXT RETURNING NULL WHEN
RAISE_APPLICATION_ERROR IS USED

820657 NLS:BIDI:TAB CANVAS DOES NOT DISPLAY ITEMS WHEN PLACED

Oracle Developer for Windows NT and Windows 95/98 リリース・ノート 55

IN SEPARATE

825141 APPS992:NCA:SCROLLING DOWN RECORDS WITH VERTICAL
SCROLL BAR SCROLLS

825387 WEBFORM: ON MASTER-DETAIL ENTER QUERY WORKS BAD

826753 GMTICS:NCA:SESSION HANGS AFTER INVOKING FORM. WINDOWS
PROBLEM.

827160 API: D2FLIBLD_LOAD CRASHES IF PLL HAS MORE THAN PU WITH
SAME NAME

842197 CHANGE PASSWORD DIALOG DOESN'T ACCEPT THE NEW
VALUES.

844094 SERVICEVIEW2:GPF:OPENING/CLOSING AND PERFORMING KEY
OPERATION LEAD

845768 SYNCHRONIZE COMMAND NOT WORKING WHEN ISSUED FROM A
BUTTON TRIGGER.

846488 DEMO 60: IN FORMS API DEMO CLICKING ON RUN PROGRAM
GIVES GPF

847632 60604 ERRORS COMPILING IF SAVE FORM WITH SUBCLASS
OBJECTS BEFORE CO

851245 FORMS BUILDER AS AN AUTOMATION CLIENT ASSERTS WHEN IT
IS SHUTDOWN

852012 "FRM-40733 PL/SQL BUILT IN RUN_REPORT_OBJECT FAILED" ON
WEB

859418 BUILDER: VGS-1101 ERROR IF OPEN IN THE LAYOUT EDITOR
CANVAS CONTAIN

861827 TAO992 : RUNFORM : CHARECTER MODE : TIACHAR1 TEST :

UNABLE TO NAVIG

868685 DEV.X509 CERTIFICATE IS INVALID

874116 DBMS_ERROR_CODE GIVES WRONG VALUES IN THE ON-ERROR
TRIGGER

879299 60 PATCH : WEBFORMS : QUITTING THE FORM KILLS THE IFWE60
PROCESS AND

879315 60 PATCH : SANITY TEST : RADIO GROUP DOES NOT SHOW THE
SELECTION CH

879325 60 PATCH : SANITY TEST : BUILDER : VERSION MISMATCH : STILL
SHOWS 6

880312 60 PATCH : SANITY TEST : CREATING AN IMAGE ITEMS GIVES GPF.

880597 FRM40209 ON VALIDATING ITEM W/BLANKS IN THE FORMATMASK
(99 "99" "9

881239 60 PATCH : SANITY TEST : EXIT OUT OF OPEN FORM GIVES FRM-
99999 ERRO

883573 APPS992: RUNTIME: EXITING RUNTIME SESSION DUMPS CORE ...

884755 TAB KEY DOES NOT WORK IN ALERTS ON WEB.

885369 APPS992:NCA:EXITING APPS GIVES NETWORK ERROR

886174 APPS992:NCA:AR:GETTING NETWORK ERROR WHILE WORKING
SETUP- TRANSACTI

886203 WEBFORMS : FORMS SERVER : LOGGING : CLIENT
CONNECTIONS : UNABLE TO

887236 TAO60:PATCH1:DUMP ON RUNNING FORM

887537 WEB:WHEN MODAL IS TRUE, THE SIZE OF THE WINDOW
ENLARGES.

888685 GMTICS:JDK11715: BOILER PLATE TEXT ALIGNMENT IS GETTING
DISTORTED .

890000 60 PATCH : GRAPHICS INTEGRATION : UNABLE TO FIND THE FILE
DIS??.OGD

890243 RPC SERVER THROWS EXCEPTION WHEN INVOKING MULTIPLE
INSTANCE OF FORM

890922 NCA:SERVICEVIEW2:ICONS DO NOT APPEAR ON ICONIC
BUTTONS

891477 WEBFORMS:TESTCASE-TIARP:REPORTS:GIVES FRM-
99999(JAVA.IO.EOFEXCEPTIO

891675 WEBFORMS: POPULATE_GROUP BUILT-IN BRINGS UP AN ERROR
FRM-40734

892736 WEBFORM:TESTCASE-TIATABR:STARTING THE FORM MODULE
GIVES FRM-99999

897245 INTERNAL PL/SQL ERROR WHILE POPULATING A HTREE USING A
DATA QUERY.

898498 NCA:SERVICEVIEW2:DUMP OCCURS WHEN BRING UP SERVICES
WINDOW FROM PRO

901336 DBMS BULTIN NOT HANDLING THE ERROR MESSAGES
CORRECTLY (USER DEFINE

901803 NIGHTLY BUILD ERROR:ASSERTION FAILED ON TESTCASE
TIPBG4

Bugs fixed in 6.0.5.29%:

291072 RECEIVES FRM-40200 WHEN TRYING TO USE A LOV FOR
VALIDATION ON NON-

613999 MENUDEF.MMB SHOWS 'WINDOW' MENU ITEM B4'HELP'
CAUSE'HELP' ISNOT MAG

649618 WEBFORMS: FOCUS IS NOT IN WINDOW IF YOU TYPE AHEAD

656535 SMARTBAR CANCEL_QUERY BUTTON ACTIVE ALL THE TIME WITH
MENUDEFS.MMB:

662406 CUT AND PASTE OF TEXT FIELD SELECTS ENTIRE FIELD NOT
JUST HIGHLIGHT

695330 8051: BUGT60 - NON-BLOCKING PROPERTY DOES NOT ALLOW
ACTIVITY ON FO

695341 BUGOUT60:FRM-40654 WHEN UPDATING READ-ONLY REF
COLUMN IF REF COLUMN

705969 NLS: CANNOT USE THE MNEMONIC IN WEBFORMS

706052 FRM-40200 COMES UP WHEN INSERTING A RECORD THOUGH IT
IS ALOWRD TO U

707726 WEBFORMS: VIEW CHART GET A BLANK CHART FOR PARETO
CHART

724674 APPS992:NCA:AP:PRESSING DOWN ARROW KEY IN LOV SELECTS
THE VALUE. IN

730324 APPS992:NCA:AR:GEN:ATTACHMENTS RECORDS NOT QUERIED
WHEN INVOKING TH

734582 APPS992:INV:GEN:CORE DUMP WHEN GENERATE SERIAL
NUMBERS FORM INVOKED

738786 WEBFORMS: APPLLET: JDK1.1.1.170: FRM-99999 ERROR COMES
UP IF CLICK O

746039 TAO60:EXECUTING A FORM MODULE SAVED IN DATABASE GIVES
CORE DUMP.

749642 OBJECT LIBRARY: WHEN REPLACING OBJECTS SOME OF THEM
GET DELETED :T

750484 WEBFORMS : SANITY : TIAWUI TEST : EXIT A CALLED FORM
(CUSTOM MENUS

767755 WEBFORMS CUT /PASTE TO SYSTEM CLIP BOARD DOES
NOT WORK

768368 RUNTIME: NO DIALOG PROMPTING TO CANCEL QUERY IF STOP
QUERY WITH NON

770760 NON BLOCKING MODE CANCEL LONG QUERY COMPULSIVELY
OF MPE1298

784695 GMTICS:UPGRDATION: GETTING FRM-30064:UNABLE TO PARSE
STMT RECORD GR

787807 WEBFORMS: WEBFORMS DOES NOT WORK WITHOUT ARCHIVE
PARAMETER

807049 RETURN VALUES OF D2FRELG_REL_TYPE NOT #DEFINED IN
D2FDEF.H

814750 SERVICEVIEW2:SQL-100501 ERROR IS ENOUNTERED DURING
STANDARD OPERATI

818471 DBMS_ERROR_TEXT RETURNING NULL WHEN
RAISE_APPLICATION_ERROR IS USED

820657 NLS:BIDI:TAB CANVAS DOES NOT DISPLAY ITEMS WHEN PLACED
IN SEPARATE

825141 APPS992:NCA:SCROLLING DOWN RECORDS WITH VERTICAL
SCROLL BAR SCROLLS

825387 WEBFORM: ON MASTER-DETAIL ENTER QUERY WORKS BAD

826753 GMTICS:NCA:SESSION HANGS AFTER INVOKING FORM. WINDOWS
PROBLEM.

827160 API: D2FLIBLD_LOAD CRASHES IF PLL HAS MORE THAN PU WITH
SAME NAME

842197 CHANGE PASSWORD DIALOG DOESN'T ACCEPT THE NEW
VALUES.

845768 SYNCHRONIZE COMMAND NOT WORKING WHEN ISSUED FROM A
BUTTON TRIGGER.

847632 60604 ERRORS COMPILING IF SAVE FORM WITH SUBCLASS
OBJECTS BEFORE CO

851245 FORMS BUILDER AS AN AUTOMATION CLIENT ASSERTS WHEN IT
IS SHUTDOWN

852012 "FRM-40733 PL/SQL BUILT IN RUN_REPORT_OBJECT FAILED" ON
WEB

859418 BUILDER: VGS-1101 ERROR IF OPEN IN THE LAYOUT EDITOR
CANVAS CONTAIN

868685 DEV.X509 CERTIFICATE IS INVALID

871045 APPS6: WHEN POPING UP A LOV, YOU SEE A WINDOW APPEAR

BEFORE THE LOV

879299 60 PATCH : WEBFORMS : QUITTING THE FORM KILLS THE IFWE60
PROCESS AND

879315 60 PATCH : SANITY TEST : RADIO GROUP DOES NOT SHOW THE
SELECTION CH

879325 60 PATCH : SANITY TEST : BUILDER : VERSION MISMATCH : STILL
SHOWS 6

880312 60 PATCH : SANITY TEST : CREATING AN IMAGE ITEMS GIVES GPF.

880597 FRM40209 ON VALIDATING ITEM W/BLANKS IN THE FORMATMASK
(99" "99" "9

881239 60 PATCH : SANITY TEST : EXIT OUT OF OPEN FORM GIVES FRM-
99999 ERRO

883573 APPS992: RUNTIME: EXITING RUNTIME SESSION DUMPS CORE ...

884755 TAB KEY DOES NOT WORK IN ALERTS ON WEB.

885369 APPS992:NCA:EXITING APPS GIVES NETWORK ERROR

886174 APPS992:NCA:AR:GETTING NETWORK ERROR WHILE WORKING
SETUP- TRANSACTI

887236 TAO60:PATCH1:DUMP ON RUNNING FORM

888685 GMTICS:JDK11715: BOILER PLATE TEXT ALIGNMENT IS GETTING
DISTORTED .

890000 60 PATCH : GRAPHICS INTEGRATION : UNABLE TO FIND THE FILE
DIS??.OGD

890922 NCA:SERVICEVIEW2:ICONS DO NOT APPEAR ON ICONIC
BUTTONS

891675 WEBFORMS: POPULATE_GROUP BUILT-IN BRINGS UP AN ERROR
FRM-40734

406559 *D2K1.3: MERGE* PLEASE MERGE THE INDICATED DELTAS FOR
IDKM.C (TR

407076 TRIAGE1296: *D2K1.3: MERGE* PLEASE MERGE THE INDICATED
DELTAS FO

408535 D2K1.3: MERGE* PORTING EXCEPTION IN MODULE IWVGF.C
TRIAGE1196

409044 *D2K13: MERGE* PORTING EXCEPTION IN MODULE IIFLOV.C:
TRIAGE1296

409632 TRIAGE1196: *D2K1.3: MERGE) PLEASE MERGE THE INDICATED
DELTAS FO

410043 *D2K13: MERGE* PORTING EXCEPTION IN MODULE IDPE.C
(TRIAGE1296)

410584 *D2K13: MERGE* PORTING EXCEPTION IN HEADER FILE IDPT.H

410983 TRIAGE1196: *D2K1.3: MERGE* CAST REQ'D IN FILE IWUTSV.C
OCCS 7.

433042 DDE.INITIAATE FAILING TO CONNECT WITH EXCEL 95

611877 CHINESE CHAR CORRUPTED IN PL/SQL EDITOR

627111 INTERNAL ERROR WHEN YOU CLICK ON "HELP" IN THE PL/SQL
EDITOR

644600 BOILERPLATE SUBCLASSSED 2 TIMES FROM OBJECT LIBRARY ->
ALL LABEL A

651437 DISTANCE BETWEEN RECORDS OF A MULTI-LINE ITEM VARIES

664246 FRM 30162 CAN BE INCORRECTLY REPORTED OF MPE0698

672658 UNABLE TO UPGRADE 4.5 TO 5.0 WITH DATABASE REFERENCED
FORM IF NOT

674546 GPF EXECUTING A FORM USING TERM PARAMETER (TRIAGE0798)

674674 EMBEDDED GRAPHICS WITHIN FORMS CHANGES FONTS USING
RUN_PRODUCT

693569 FORMS_NLS : MEMORY LEAKS WHEN USING PL/SQL EDITOR
TRIAGE0798

716270 FORM-RUN_PRODUCT(REPORT...), REPORTS WAITS AT
PROGRESS DISPLAY FO

742278 FRM-91111 : F50DESM WHEN ORA_NLS32 SET

742811 PLEASE BACKPORT 693569 INTO THE 5.0 CODELINE OF MPE1198

748016 F45DBG32.EXE (F45RD32.DLL): 0x0000005: Access Violation -
form_tr

749024 PLEASE BACKPORT 592379 TO DEVELOPER 2.1 OF MPE119

759692 CANNOT ENTER SPECIAL CHARACTERS LIKE @ OR { IN
WEBFORMS

761276 OFMPE0399 CM: VA REVERSE FOR CURRENT RECORD IN MULTI-
RECORD BLOCK

764687 PLEASE BACKPORT 617433 TO FORMS 5 OF MPE0199

772187 PLEASE BACKPORT FIX FOR BUG 609348 TO FORMS 5.0.6.11
OFMPE1298

789683 DEFAULT VALUE CHANGES AFTER SAVING A FMB

790974 GPF WHEN CHOOSE CANCEL TO 'WANT TO SAVE?' WHEN FORM
CALLED FROM M

792370 PLEASE BACKPORT 728509 INTO THE 5.0 CODELINE
OFMPE0199

808671 21 PATCH : WEBFORMS : TIAWUI TEST FAILS : NAVIGATING TO
CANVASES

812984 FORMS 3.0 AND 4.5: STATUS BAR HAS CHANGED WHEN
RUNNING QUERY/WHER

813475 FILES LISTED IN FQT50.PAT IS NOT PRESENT IN CDM AREA TO
PROCESS P

815012 21PATCH : WEBFORMS : TAB CANVAS : LOOSES THE BACK-
GROUND COLOR :

815018 21 PATCH : WEBFORMS : GRAPHICS INTEGRATION : GRAPH DOES
NOT COME

823123 WEBFORMS: AUTO SKIP PROPERTY DOESN'T WORK - REQUEST
BACKPORT

836330 21 PATCH : SOLARIS ONLY : RUNFORM+WEBFORMS : KGEPOP
ERROR AND FOR

850939 21 PATCH : WEBFORMS : GRAPHICS INTEGRATION : DEAD LOCK
ERROR AND

Bugs fixed In PROCEDURE BUILDER:

Ver 6.0.5.29.0

This patch addresses the following bugs:

767024 GOLD: PLEASE BACKPORT 758003 TO DEVELOPER 2.1^M

836716 BACKPORT BUG 524920^M

849824 ORA-1458 WHEN CALLING A STORED PROCEDURE WHICH
RETURNS A NUMBER

PATCH RELEASE: DE 6.0.5.30.1

BUGS CLOSED: 4

757458 CANNOT OPEN PROGRAM IF ITS SOURCE SIZE >= 64K

792102 REMOVE 8.0.5.1 CONVERTER WORKAROUNDS

884405 CONVERTING LIBRARY TO TEXT WITH DUTCH LANG: PDE-
PER001 DEPRF

892227 GETTING PDE-PLI041 WHEN ATTEMPTING TO SAVE LIBRARY
INTO DATA

CONTACT INFORMATION:

Santosh David Poonen

SPoonen

650.506.3552

Bugs fixed In REPORTS:

Ver 6.0.5.30.0

887125 ADD VERSION NUMBER INTO RWMTS60.RC

898677 PRINTING CHAR MODE REPORTS FROM PREVIEWER IN
RUNTIME CAUSES APPLICATION ERROR

881679 ERROR: CANNOT FIND FILE RWBDEXPQ.RES:

Ver 6.0.5.29.2:

815829 APPS6: UNABLE TO USE THE BUILT-IN PACKAGE 'LIST' IN
REPORTS 6.0

851708 REPORT SERVER SRW.RUN_REPORT DOES NOT CREATE
LOG FILE OR FAIL FOR BAD REPORTS

864957 APPS6:REP1800 REP0177 VGS1101 ERRORS WHILE RUNNING
ON WEB

869700 APPS6:REPORTS CORE DUMPING

880540 BACKPORT EXEC_SQL SUPPORT INTO REPORTS 6.0

890547 PATCH1: REPORT SERVER HANGS WHILE RUNNING JOBS

889202 REPORTS BUILDER AND REPORTS RUNTIME IS NOT WORKING
FOR GERMAN AND JAPANESE.

889016 PATCH1: FILE RW_SERVER.SQL IS NOT INSTALLED.

888939 PATCH1: RUNNING THRU CGI WITH DESFORMAT=HTML
RETURNS OUTPUT 2 TIMES

Bugs closed in Jinit 1.1.7.15.10

Oracle JInitiator 1.1.7.x Changes

Overview

This file contains the list of changes between the Oracle JInitiator releases.

Changes between 1.1.7.15 and 1.1.7.15.1

- New version 1.1.7.15.1
- New OJDK/OJRE 1.1.7.15.1
- A new MIME types were added to reflect the new version number.
application/x-jinit-applet;version=1.1.7.15.1
- A MIME types are no longer supported
application/x-jinit-applet;version=1.1.7.13
- A JAR file bug fix (887132)
- New universal.html
- New version of Developer certificate
- readme.txt has documented some of the changes in more detail.

Things taken care in Patch2 (1.1.7.16o):

Oracle JInitiator 1.1.7.x Changes

Overview

This file contains the list of changes between the Oracle JInitiator releases.

Changes between 1.1.7.15.1 and 1.1.7.16

- New version 1.1.7.16
- New OJDK/OJRE 1.1.7.16
- A new MIME types were added to reflect the new version number.
application/x-jinit-applet;version=1.1.7.16
- A MIME types are no longer supported
application/x-jinit-applet;version=1.1.7.14
- Now the msvcrt.dll will be copied to JInitiator's bin directory instead of the system directory.
- Fix bug 885167, 889739

Changes between 1.1.7.15 and 1.1.7.15.1

- New version 1.1.7.15.1

- New OJDK/OJRE 1.1.7.15.1
- A new MIME types were added to reflect the new version number.
application/x-jinit-applet;version=1.1.7.15.1
- A MIME types are no longer supported
application/x-jinit-applet;version=1.1.7.13
- A JAR file bug fix (887132)
- New universal.html
- New version of Developer certificate
- readme.txt has documented some of the changes in more detail.

Changes between 1.1.7.14 and 1.1.7.15

- New version 1.1.7.15
- New OJDK/OJRE 1.1.7.15
- A new MIME types were added to reflect the new version number.
application/x-jinit-applet;version=1.1.7.15
- A MIME types are no longer supported
application/x-jinit-applet;version=1.1.7.12
- New JAR file caching scheme (See readme.txt)
- New universal.html

Changes between 1.1.7.13 and 1.1.7.14

- New version 1.1.7.14

- New OJDK/OJRE 1.1.7.14

- A new MIME types were added to reflect the new version number.

application/x-jinit-applet;version=1.1.7.14

- 2 MIME types are no longer supported

application/x-jinit-applet;version=1.1.5.21.1

application/x-jinit-applet;version=1.1.5.3

- Fix bug 863529

Changes between 1.1.7.12 and 1.1.7.13

- New version 1.1.7.13

- New OJDK/OJRE 1.1.7.13

- 2 new MIME types were added to reflect the new version number.

application/x-jinit-applet;version=1.1.7.13

application/x-jinit-bean;version=1.1.7.13

- 2 MIME types are no longer supported

application/x-jinit-applet;version=1.1.7.10

application/x-jinit-bean;version=1.1.7.10

- Fix bug 786330, 801717, 752262, 839941

- New example HTML file (universal.html) to show how to create a HTML file for both

JInitiator and appletviewer

Changes between 1.1.7.11 and 1.1.7.12

- New version 1.1.7.12
- New OJDK/OJRE (1.1.7.12)
- 2 new MIME types were added to reflect the new version number.

application/x-jinit-applet;version=1.1.7.12

application/x-jinit-bean;version=1.1.7.12

- 2 MIME types are no longer supported

application/x-jinit-applet;version=1.1.7.9

application/x-jinit-bean;version=1.1.7.9

- The new OJDK/OJRE fixes an Oracle bug 838605

Changes between 1.1.7.10 and 1.1.7.11

- New version 1.1.7.11
- New OJDK/OJRE (1.1.7.11)
- 2 new MIME types were added to reflect the new version number.

The following 2 MIME types were added:

application/x-jinit-applet;version=1.1.7.11

application/x-jinit-bean;version=1.1.7.11

- Fix Oracle Bug 794709, 785679 (Doc bug), 825904
- We also have some documentation changes for JInitiator
- For OJDK bug fixes please read the file "Change"

Changes between 1.1.7.9 and 1.1.7.10

- New version 1.1.7.10
- New OJDK/OJRE (1.1.7.10)
- 2 new MIME types were added to reflect the new version number.

The following 2 MIME types were added:

`application/x-jinit-applet;version=1.1.7.10`

`application/x-jinit-bean;version=1.1.7.10`

We have changed our policy regarding supported MIME types. We will no longer support x-jinit-bean type MIME type (since nobody is using it).

We will support the two most recent MIME type, plus any MIME type that customer is using (MIME type version 1.1.5.21.1. and 1.1.5.3)

Changes between 1.1.7.8.1 and 1.1.7.9

- New version 1.1.7.9
- New OJDK/OJRE (1.1.7.9)
- 2 new MIME types were added to reflect the new version number.

The following 2 MIME types were added:

`application/x-jinit-applet;version=1.1.7.9`

`application/x-jinit-bean;version=1.1.7.9`

- The plugin DLL's filename now has version number in it. (i.e. NPJinit-

1179.dll)

Changes between 1.1.7.8 and 1.1.7.8.1

- New version (1.1.7.8.1)
- Fix for Oracle Bug 793517
- 2 new MIME types were added to reflect the new version number.

The following 2 MIME types were added:

application/x-jinit-applet;version=1.1.7.8.1

application/x-jinit-bean;version=1.1.7.8.1

Changes between 1.1.7.7 and 1.1.7.8

- New version (1.1.7.8)
- New OJDK/OJRE (OJDK/OJRE 1.1.7.8)
- Fix for Oracle Bug 788362
- 2 new MIME types were added to reflect the new version number.

The following 2 MIME types were added:

application/x-jinit-applet;version=1.1.7.8

application/x-jinit-bean;version=1.1.7.8

Changes between 1.1.7.4.1 and 1.1.7.7

- New version (1.1.7.7)
- New OJDK/OJRE (OJDK/OJRE 1.1.7.7)

- Enable JIT

- 2 new MIME types were added to reflect the new version number.

The following 2 MIME types were added:

application/x-jinit-applet;version=1.1.7.7

application/x-jinit-bean;version=1.1.7.7

Changes between 1.1.7.4 and 1.1.7.4.1

- This is an unsupported version of JInitiator

- New version (1.1.7.4.1)

- This fix an installation bug which prevent silent mode install (Bug 774905)

- 2 new MIME types were added to reflect the new version number.

The following 2 MIME types were added:

application/x-jinit-applet;version=1.1.7.4.1

application/x-jinit-bean;version=1.1.7.4.1

Changes between 1.1.7.3 and 1.1.7.4

- Add a missing line in java.security

- 2 new MIME types were added to reflect the new version number.

The following 2 MIME types were added:

application/x-jinit-applet;version=1.1.7.4

application/x-jinit-bean;version=1.1.7.4

Changes between 1.1.7.2 and 1.1.7.3

- New Oracle JRE (1.1.7.5o)
- Fix Oracle Bug 767440
- Fix Oracle Bug 760972
- 2 new MIME types were added to reflect the new version number.

The following 2 MIME types were added:

application/x-jinit-applet;version=1.1.7.3

application/x-jinit-bean;version=1.1.7.3

Changes between 1.1.7.1 and 1.1.7.2

- New Oracle JRE (1.1.7.3)
- Fix two bugs: Now the Java Runtime parameters will be passed in correctly.
- 2 new MIME types were added to reflect the new version number.

The following 2 MIME types were added:

application/x-jinit-applet;version=1.1.7.2

application/x-jinit-bean;version=1.1.7.2

New in JInitiator 1.1.7.1

- There is no changes to report since it is the first 1.1.7 JInitiator release.
- 1.1.7 signify the included JRE is based on OJDK 1.1.7 series.
- Change the string Netscape displays in the "About Plug-in" page. Apparently there

is a limitation of how long a string Netscape can display in that page.

- 2 new MIME types were added to reflect the new version number.

The following 2 MIME types were added:

application/x-jinit-applet;version=1.1.7.1

application/x-jinit-bean;version=1.1.7.1

Note : Oracle JInitiator 1.1.7.x will not support MIME type for 1.1.5.3

Copyright (c)1998 Oracle Corporation All Rights Reserved.

Last update: 11/12/98.

Questions, comments, etc: Please contact your local Oracle support representative.

LANGUAGE SUPPLEMENT

Bugs fixed in Patch 2_2:

=====
Bugs addressed:

794589 REPORTS RUNTIME DUMPS CORE IN ROSNXT8CBLNG DUE
TO PROBLEM WITH GUI

726484 [MORE...]/[...] BUTTON ON PROPERTY PALETTE IS TOO SMALL

907168 MAP FILE PROBLEM

902450 LARGISH MENU IS DYING IN TK/WINDOWS CODE AT CREATION

900788 CAUTOCLASS SHOULD RESET THE POINTERS AFTER DELETE
IN THE CONSTRUCTOR

876468 MENU NOT SYNCHRONIZED PROPERLY UNTIL REDRAW
FORCED

886059 REQUIRE METHOD OF TURNING OFF TYPED-CHARACTER
NAVIGATION IN HTREE

880351 "CTRL+PAGE DOWN" KEY MAPPING FOR "NEXT-BLOCK" IS NOT
MAPPED

864258 UIWNZMSWCOMMWNDPROC() DOES NOT HANDLE CASE
WHERE LPARAM IS NULL

854293 INITIALLY INVIS MENU ITEM CAN'T BE MADE VISIBLE WITHOUT
FORCING A REDRAW

852594 PRINT DIALOG NOT GETTING FOCUS IF INVOKED FROM A
DIALOG WINDOW

848228 CALLING UICEQV() WITH NULL CONTEXT RESULTS IN GPF

839867 UCHT (TREE VIEW CONTROL) HAS A TOO-SMALL DEFAULT SIZE
ON MOTIF (OK ON WINDOWS)

828313 NO WINDOW BECOMES ACTIVE AFTER ACTIVE WINDOW IS
DESTROYED

789501 GPF WHILE EXITING A FORM WHEN OCX HAS FOCUS

693641 MOVE_ALLOWED PROPERTY FALSE DOES NOT WORK FOR
DIALOG WINDOWS OFMPE0998